

【表紙】

【提出書類】	訂正有価証券届出書
【提出先】	関東財務局長殿
【提出日】	2020年6月23日提出
【発行者名】	日興アセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 安倍 秀雄
【本店の所在の場所】	東京都港区赤坂九丁目7番1号
【事務連絡者氏名】	新屋敷 昇
【電話番号】	03-6447-6147
【届出の対象とした募集（売出）内国投資 信託受益証券に係るファンドの名称】	グローバル3倍3分法ファンド（1年決算型）
【届出の対象とした募集（売出）内国投資 信託受益証券の金額】	5兆円を上限とします。
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

半期報告書を提出しましたので2019年12月24日付をもって提出しました有価証券届出書（以下「原届出書」といいます。）の関係情報を新たな情報に訂正するため、また、記載事項の一部に訂正事項がありますのでこれを訂正するため、本訂正届出書を提出します。

2【訂正の内容】

<訂正前>および<訂正後>に記載している下線部_____は訂正部分を示し、<更新後>に記載している内容は原届出書が更新されます。なお、「第二部 ファンド情報 第1 ファンドの状況 5 運用状況」は原届出書の更新後の内容を記載しています。また、原届出書の「第二部 ファンド情報 第3 ファンドの経理状況」において「1 財務諸表」につきましては「中間財務諸表」の記載事項が追加され、「2 ファンドの現況」につきましては原届出書の更新後の内容を記載しています。

第二部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1【ファンドの性格】

(2)【ファンドの沿革】

<訂正前>

2018年10月 4日

- ・ ファンドの信託契約締結、当初自己設定、運用開始

<訂正後>

2018年10月 4日

- ・ ファンドの信託契約締結、当初自己設定、運用開始

2020年12月24日

- ・ 信託期間を無期限に変更（予定）

(3)【ファンドの仕組み】

<更新後>

委託会社の概況（2020年3月末現在）

1) 資本金

17,363百万円

2) 沿革

1959年：日興証券投資信託委託株式会社として設立

1999年：日興国際投資顧問株式会社と合併し「日興アセットマネジメント株式会社」に社名変更

3) 大株主の状況

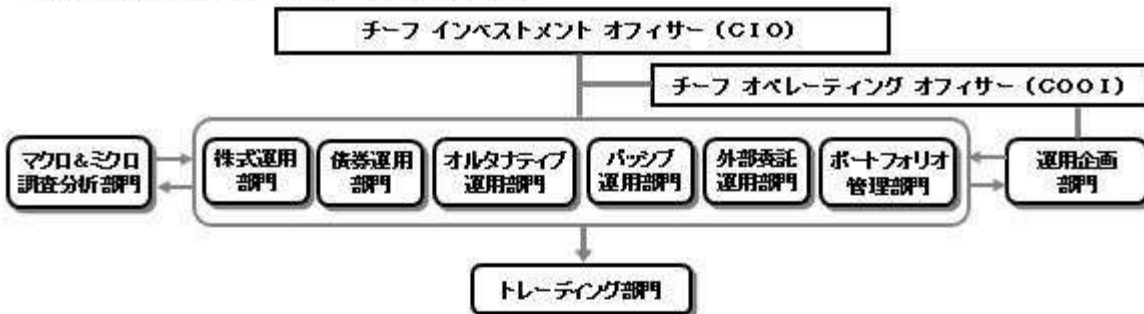
名 称	住 所	所有株数	所有比率
三井住友トラスト・ホールディングス株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号	179,869,100株	91.29%
DBS Bank Ltd.	6 Shenton Way, #46-00, DBS Building Tower One, Singapore 068809	14,283,400株	7.24%

2【投資方針】

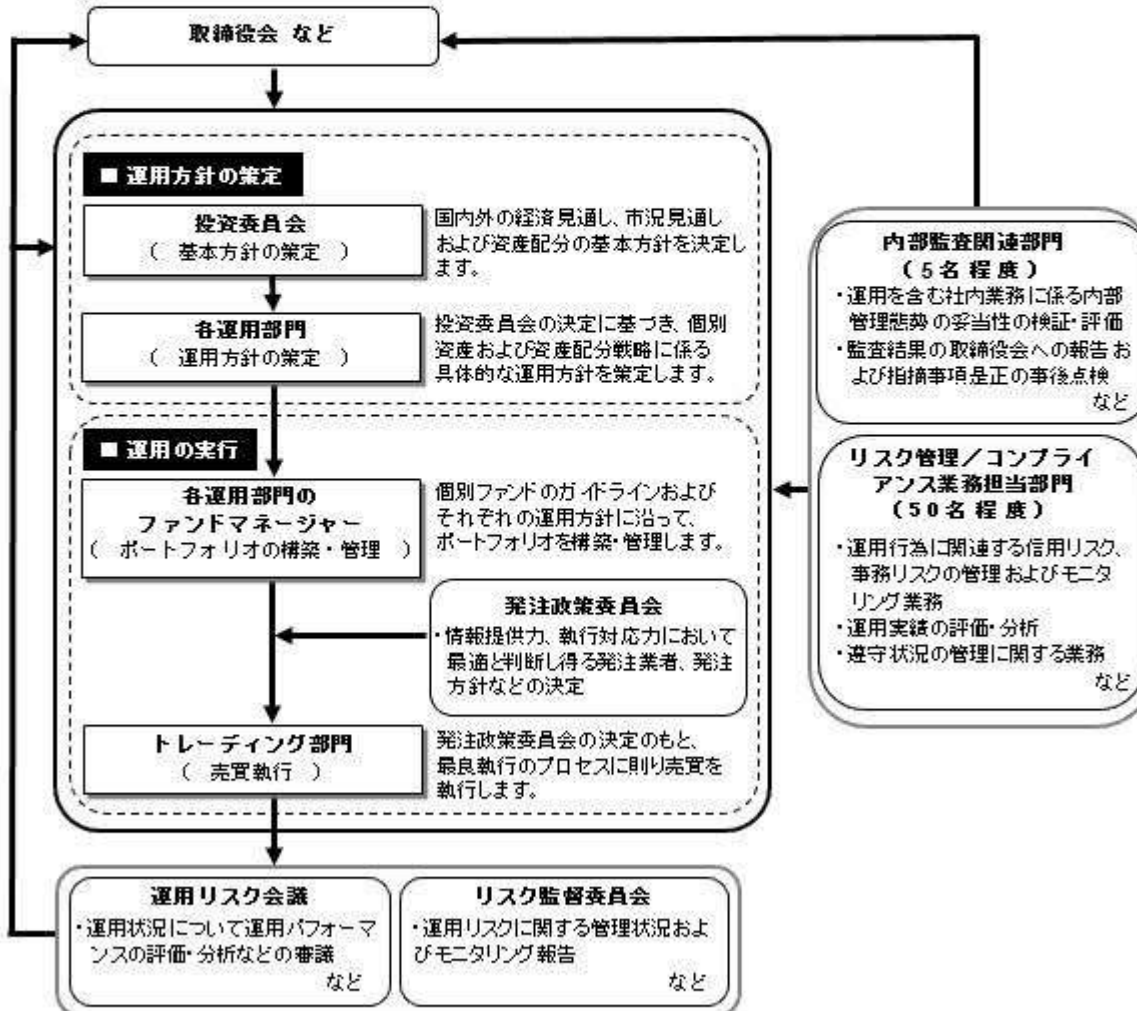
(3)【運用体制】

<更新後>

◆委託会社における運用体制は以下の通りです。



◆委託会社の運用体制における内部管理および意思決定を監督する組織などは以下の通りです。



委託会社によるファンドの関係法人（販売会社を除く）に対する管理体制

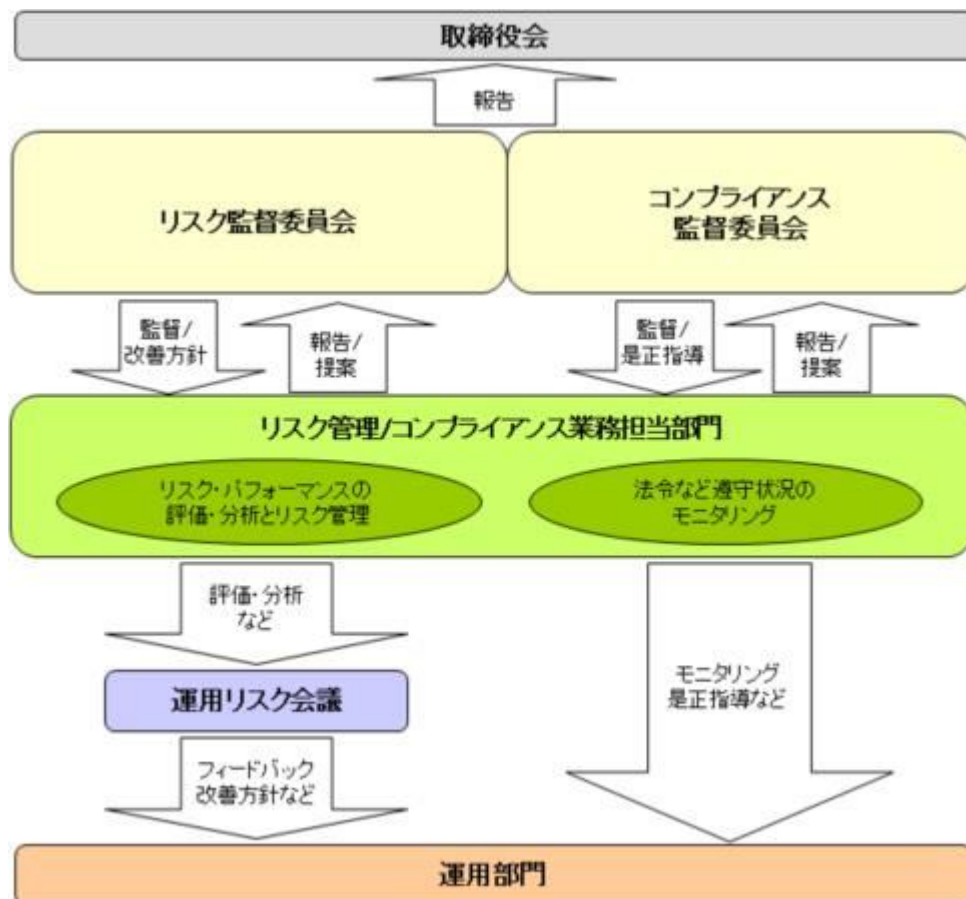
「受託会社」に対しては、日々の純資産照会、月次の勘定残高照会などを行っております。また、独立した監査法人が所定の手続きまで受託業務について監査を行っており、内部統制が有効に機能している旨の監査報告書を定期的に受け取っております。

上記体制は2020年3月末現在のものであり、今後変更となる場合があります。

3【投資リスク】

< 更新後 >

(2) リスク管理体制



全社リスク管理

当社では運用部門、営業部門と独立した組織であるリスク管理/コンプライアンス業務担当部門を設置し、全社的なリスク管理活動のモニタリング、指導の一元化を図っております。当社グループの法令などの遵守状況についてはコンプライアンス部門が事務局を務めるコンプライアンス監督委員会、リスク管理状況についてはリスク管理部門が事務局を務めるリスク監督委員会を通して経営陣に報告され、更に年一度以上取締役会に対して全体的な活動状況を報告しております。両委員会およびそれに関連する部門別会議においては、法令遵守状況や各種リスク（運用リスク、事務リスク、システムリスクなど）に関するモニタリングとその報告に加えて、重要事故への対応と各種リスク対応、事故防止のための施策やその管理手法の構築などの支援に努めております。

運用状況の評価・分析および運用リスク管理

ファンド財産について運用状況の評価・分析および運用リスクの管理状況をモニタリングします。運用パフォーマンスおよび運用リスクに係る評価と分析の結果については運用リスク会議に報告し、運用リスクの管理状況についてはリスク監督委員会へ報告され、問題点の原因の究明や改善策の策定が図られます。加えて外部委託運用部門は、外部委託ファンドの運用管理を行ない、投資方針に沿った運用が行なわれているかなどのモニタリングを行なっています。

法令など遵守状況のモニタリング

運用における法令・諸規則、信託約款などの遵守状況については、コンプライアンス業務担当部門が管理を行ないます。問題点についてはコンプライアンス関連の委員会に報告され、必要に応じ運用部門に対し是正指導が行なわれるなど、適切に管理・監督を行ないます。

上記体制は2020年3月末現在のものであり、今後変更となる場合があります。

< 更新後 >

(参考情報)

当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(当ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率および最小騰落率(%))

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	20.5%	6.8%	8.0%	4.2%	2.0%	1.2%	0.6%
最大値	31.8%	41.9%	34.1%	37.2%	9.3%	15.3%	19.3%
最小値	-7.4%	-22.0%	-17.5%	-27.4%	-4.0%	-12.3%	-17.4%

※上記は当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※上記は2015年4月から2020年3月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大-最小-平均を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算した理論上のものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。ただし、当ファンドは直近1年間の騰落率が5年分ないため、設定日以降算出できる値を使用しています。

<各資産クラスの指数>

日本株……東証株価指数(TOPIX、配当込)

先進国株……MSCI-KOKUSAIインデックス(配当込、円ベース)

新興国株……MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込、円ベース)

日本国債……NOMURA-BPI国債

先進国債……FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債……JPモルガンGBI-EMグローバルレディバースファイド(円ヘッジなし、円ベース)

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について

東証株価指数(TOPIX、配当込)

当指数は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

MSCI-KOKUSAIインデックス(配当込、円ベース)

当指数は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込、円ベース)

当指数は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

NOMURA-BPI国債

当指数は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を

当ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移



※基準価額は運用管理費用(信託報酬)控除後の1万口当たりの値です。

※分配金再投資基準価額は、2018年10月末の基準価額を起点として指数化しています。

※当ファンドの分配金再投資基準価額および年間騰落率(各月末における直近1年間の騰落率)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算した理論上のものであり、実際の基準価額および実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

負いません。

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

当指数は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。当指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ヘッジなし、円ベース）

当指数は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

4【手数料等及び税金】

（5）【課税上の取扱い】

<更新後>

課税上は、株式投資信託として取り扱われます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。

個人受益者の場合

1) 収益分配金に対する課税

収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金については配当所得として、20.315%（所得税15.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収（原則として、確定申告は不要です。）が行なわれます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）のいずれかを選択することもできます。

2) 解約金および償還金に対する課税

解約時および償還時の差益（譲渡益）^{*}については譲渡所得として、20.315%（所得税15.315%および地方税5%）の税率による申告分離課税の対象となり、確定申告が必要となります。なお、源泉徴収ありの特定口座（源泉徴収選択口座）を選択している場合は、20.315%（所得税15.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収（原則として、確定申告は不要です。）が行なわれます。

^{*} 解約価額および償還価額から取得費用（申込手数料および当該手数料に係る消費税等相当額を含みます。）を控除した利益

確定申告等により、解約時および償還時の差損（譲渡損失）については、上場株式等の譲渡益、上場株式等の配当等および特定公社債等の利子所得（申告分離課税を選択したものに限りま。）と損益通算が可能です。また、解約時および償還時の差益（譲渡益）、普通分配金および特定公社債等の利子所得（申告分離課税を選択したものに限りま。）については、上場株式等の譲渡損失と損益通算が可能です。

少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合、毎年、年間120万円の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が5年間非課税となります。ご利用になれるのは、満20歳以上の方で、販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。また、未成年者少額投資非課税制度（ジュニアNISA）をご利用の場合、20歳未満の居住者などを対象に、年間80万円の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が5年間非課税となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

法人受益者の場合

1) 収益分配金、解約金、償還金に対する課税

収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに解約時および償還時の個別元本超過額については配当所得として、15.315%（所得税のみ）の税率による源泉徴収が行なわれます。源泉徴収された税金は、所有期間に応じて法人税から控除される場合があります。

2) 益金不算入制度の適用

益金不算入制度は適用されません。

買取請求による換金の際の課税については、販売会社にお問い合わせください。

個別元本

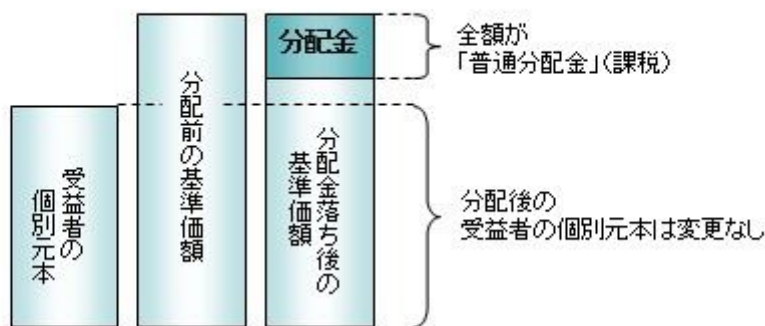
- 1) 各受益者の買付時の基準価額（申込手数料および当該手数料に係る消費税等相当額は含まれません。）が個別元本になります。
- 2) 受益者が同一ファンドを複数回お申込みの場合、1口当たりの個別元本は、申込口数で加重平均した値となります。ただし、個別元本は、複数支店で同一ファンドをお申込みの場合などにより把握方法が異なる場合がありますので、販売会社にお問い合わせください。

普通分配金と元本払戻金（特別分配金）

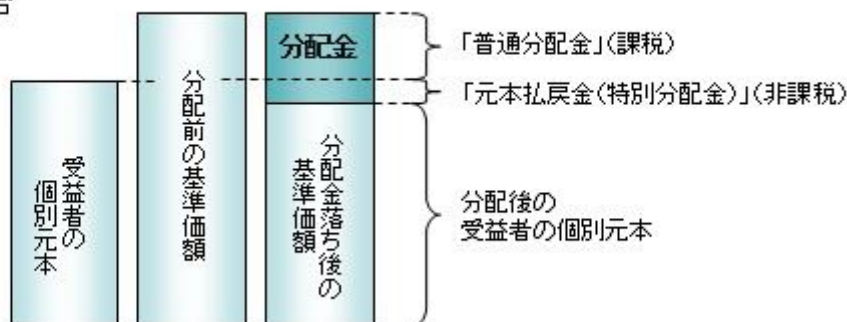
- 1) 収益分配金には課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」（元本の一部払戻しに相当する部分）の区分があります。
- 2) 受益者が収益分配金を受け取る際
 - イ) 収益分配金落ち後の基準価額が、受益者の1口当たりの個別元本と同額かまたは上回っている場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となります。
 - ロ) 収益分配金落ち後の基準価額が、受益者の1口当たりの個別元本を下回っている場合には、収益分配金の範囲内でその下回っている部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、収益分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した金額が普通分配金となります。
 - ハ) 収益分配金発生時に、その個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者の個別元本となります。

<分配金に関するイメージ図>

イ) の場合



ロ)、ハ) の場合



外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

上記は2020年6月23日現在のものですので、税法が改正された場合などには、税率などの課税上の取扱いが変更になる場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家などにご確認されることをお勧めします。

5【運用状況】

【グローバル3倍3分法ファンド（1年決算型）】

以下の運用状況は2020年3月31日現在です。

- ・投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

(1)【投資状況】

資産の種類	国・地域	時価合計（円）	投資比率（%）
-------	------	---------	---------

投資信託受益証券	日本	345,478,945,645	98.77
親投資信託受益証券	日本	442,630,580	0.13
コール・ローン等、その他資産（負債控除後）		3,875,304,207	1.11
合計（純資産総額）		349,796,880,432	100.00

(2) 【投資資産】

【投資有価証券の主要銘柄】

イ. 評価額上位銘柄明細

国・地域	種類	銘柄名	数量又は 額面総額	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
日本	投資信託受益証券	グローバル3倍3分法ファンド（適格機関投資家向け）	328,152,493,964	1.2788	419,667,046,907	1.0528	345,478,945,645	98.77
日本	親投資信託受益証券	マネー・オープン・マザーファンド	435,617,144	1.0161	442,667,980	1.0161	442,630,580	0.13

ロ. 種類別の投資比率

種類	投資比率(%)
投資信託受益証券	98.77
親投資信託受益証券	0.13
合計	98.89

【投資不動産物件】

該当事項はありません。

【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

(3) 【運用実績】

【純資産の推移】

期別	純資産総額（百万円）		1口当たり純資産額(円)	
	分配落ち	分配付き	分配落ち	分配付き
第1計算期間末 (2019年 9月24日)	181,245	181,245	1.2436	1.2436
2019年 3月末日	1,832		1.1203	
4月末日	31,203		1.1224	
5月末日	53,716		1.1020	
6月末日	80,958		1.1547	
7月末日	119,330		1.1921	

8月末日	148,045		1.2101
9月末日	196,189		1.2472
10月末日	255,578		1.2685
11月末日	314,480		1.2860
12月末日	360,000		1.2771
2020年 1月末日	408,226		1.3174
2月末日	414,811		1.2503
3月末日	349,796		1.0373

【分配の推移】

期	期間	1口当たりの分配金（円）
第1期	2018年10月 4日～2019年 9月24日	0.0000
当中間期	2019年 9月25日～2020年 3月24日	

【収益率の推移】

期	期間	収益率（％）
第1期	2018年10月 4日～2019年 9月24日	24.36
当中間期	2019年 9月25日～2020年 3月24日	25.54

(注)各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額（分配落ち）に当該計算期間の分配金を加算し、当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落ち。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じた数です。

(4) 【設定及び解約の実績】

期	期間	設定口数（口）	解約口数（口）
第1期	2018年10月 4日～2019年 9月24日	149,835,081,121	4,090,945,074
当中間期	2019年 9月25日～2020年 3月24日	235,600,367,255	45,981,983,701

(注)第1計算期間の設定口数には、当初設定口数を含みます。

(参考)

グローバル3倍3分法ファンド（適格機関投資家向け）

以下の運用状況は2020年 3月31日現在です。

- ・投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

投資状況

資産の種類	国・地域	時価合計（円）	投資比率（％）
-------	------	---------	---------

親投資信託受益証券	日本	407,178,352,319	76.71
コール・ローン等、その他資産(負債控除後)		123,621,736,438	23.29
合計(純資産総額)		530,800,088,757	100.00

その他の資産の投資状況

資産の種類	建別	国・地域	時価合計(円)	投資比率(%)
株価指数先物取引	買建	日本	94,449,960,000	17.79
債券先物取引	買建	日本	204,138,660,000	38.46
	買建	アメリカ	201,126,553,643	37.89
	買建	ドイツ	206,521,859,880	38.91
	買建	イギリス	212,212,783,266	39.98
	買建	オーストラリア	205,173,785,109	38.65

(注)先物取引は、主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しています。

投資資産

投資有価証券の主要銘柄

イ. 評価額上位銘柄明細

国・地域	種類	銘柄名	数量又は 額面総額	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
日本	親投資信託受益証券	海外株式インデックスMSCI-KOKUSAI(ヘッジなし)マザーファンド	48,582,867,495	1.9984	97,088,002,402	2.2211	107,907,406,993	20.33
日本	親投資信託受益証券	日本リートインデックスJ-REITマザーファンド	53,581,445,006	1.5599	83,581,696,064	1.9063	102,142,308,614	19.24
日本	親投資信託受益証券	海外新興国株式インデックスMSCIエマージング(ヘッジなし)マザーファンド	71,506,245,359	1.3834	98,921,739,829	1.4211	101,617,525,279	19.14
日本	親投資信託受益証券	海外リートインデックス(ヘッジなし)マザーファンド	58,171,089,246	1.4461	84,121,212,158	1.6419	95,511,111,433	17.99

ロ. 種類別の投資比率

種類	投資比率(%)
親投資信託受益証券	76.71
合計	76.71

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

資産の種類	地域	取引所	名称	建別	数量	通貨	契約額等 (各通貨)	契約額等(円)	評価額 (各通貨)	評価額(円)	投資 比率 (%)
-------	----	-----	----	----	----	----	---------------	---------	--------------	--------	-----------------

株価指数先物取引	日本	大阪取引所	東証株価指数先物 2020年06月	買建	6,732	日本円	86,472,540,000	86,472,540,000	94,449,960,000	94,449,960,000	17.79
債券先物取引	日本	大阪取引所	東証長期国債標準先物 2020年06月	買建	1,338	日本円	202,470,157,000	202,470,157,000	204,138,660,000	204,138,660,000	38.46
	アメリカ	シカゴ商品取引所	TNOTE10Y2006	買建	13,312	米ドル	1,821,560,376.88	198,240,415,815	1,848,080,066.56	201,126,553,643	37.89
	ドイツ	ユーレックス・ドイツ金融先物取引所	BUND10Y 2006	買建	9,951	ユーロ	1,696,789,620	202,851,199,071	1,727,493,600	206,521,859,880	38.91
	オーストラリア	シドニー先物取引所	AUSTR10Y2006	買建	20,646	豪ドル	3,015,461,880.76	199,291,875,699	3,104,460,358.74	205,173,785,109	38.65
	イギリス	ロンドン国際金融先物オプション取引所	GILT10Y 2006	買建	11,645	英ポンド	1,561,072,780	208,122,223,030	1,591,755,050	212,212,783,266	39.98

(注)先物取引は、主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しています。

海外株式インデックスMSCI - KOKUSAI (ヘッジなし) マザーファンド

以下の運用状況は2020年 3月31日現在です。

- ・投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

投資状況

資産の種類	国・地域	時価合計(円)	投資比率(%)
株式	アメリカ	134,984,439,083	65.27
	カナダ	6,765,973,839	3.27
	ドイツ	5,863,979,501	2.84
	イタリア	1,289,178,460	0.62
	フランス	7,123,496,567	3.44
	オランダ	3,520,329,214	1.70
	スペイン	1,838,873,530	0.89
	ベルギー	591,446,258	0.29
	オーストリア	120,164,601	0.06
	ルクセンブルク	162,854,321	0.08
	フィンランド	796,499,346	0.39
	アイルランド	3,935,954,817	1.90
	ポルトガル	133,371,811	0.06
	イギリス	10,336,109,430	5.00
	スイス	8,288,077,149	4.01
	スウェーデン	1,795,526,342	0.87
	ノルウェー	373,014,062	0.18
	デンマーク	1,556,935,940	0.75
	ケイマン	423,358,077	0.20
	オーストラリア	3,992,192,767	1.93
バミューダ	335,599,236	0.16	
ニュージーランド	207,076,405	0.10	

	香港	2,052,523,086	0.99
	シンガポール	781,739,780	0.38
	イスラエル	422,950,129	0.20
	ジャージー	413,493,334	0.20
	英ヴァージン諸島	10,088,541	0.00
	アラブ首長国連邦	7,996,435	0.00
	マン島	26,524,014	0.01
	小計	198,149,766,075	95.82
投資証券	アメリカ	4,730,608,018	2.29
	カナダ	40,686,848	0.02
	フランス	136,074,572	0.07
	イギリス	108,403,827	0.05
	オーストラリア	252,159,339	0.12
	香港	117,000,936	0.06
	シンガポール	94,898,440	0.05
	小計	5,479,831,980	2.65
コール・ローン等、その他資産（負債控除後）		3,170,370,605	1.53
合計（純資産総額）		206,799,968,660	100.00

その他の資産の投資状況

資産の種類	建別	国・地域	時価合計（円）	投資比率（％）
株価指数先物取引	買建	アメリカ	2,699,680,512	1.31
	買建	ドイツ	605,341,425	0.29

(注)先物取引は、主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しています。

資産の種類	建別	国・地域	時価合計（円）	投資比率（％）
為替予約取引	買建		2,468,564,000	1.19

(注)為替予約取引は、わが国における対顧客先物相場の仲値で評価しています。

投資資産

投資有価証券の主要銘柄

イ. 評価額上位銘柄明細

国・地域	種類	銘柄名	業種	数量又は額面総額	簿価単価（円）	簿価金額（円）	評価単価（円）	評価金額（円）	投資比率（％）
アメリカ	株式	MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	420,844	15,821.70	6,658,469,787	17,437.83	7,338,606,507	3.55
アメリカ	株式	APPLE INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	258,022	27,890.95	7,196,479,320	27,730.97	7,155,200,935	3.46
アメリカ	株式	AMAZON.COM INC	小売	24,465	194,081.98	4,748,215,652	213,736.67	5,229,067,839	2.53

アメリカ	株式	FACEBOOK INC-CLASS A	メディア・娯楽	139,670	20,728.85	2,895,198,493	18,060.33	2,522,487,478	1.22
アメリカ	株式	ALPHABET INC-CL C	メディア・娯楽	17,942	139,879.19	2,509,712,588	124,808.42	2,239,312,682	1.08
アメリカ	株式	JOHNSON & JOHNSON	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	152,771	14,314.40	2,186,826,714	14,475.47	2,211,433,295	1.07
アメリカ	株式	ALPHABET INC-CL A	メディア・娯楽	17,380	139,744.24	2,428,755,062	124,752.91	2,168,205,703	1.05
スイス	株式	NESTLE SA-REG	食品・飲料・タバコ	172,663	11,839.50	2,044,243,899	11,298.35	1,950,808,387	0.94
アメリカ	株式	JPMORGAN CHASE & CO	銀行	182,000	13,695.16	2,492,520,430	10,175.60	1,851,960,110	0.90
アメリカ	株式	PROCTER & GAMBLE CO	家庭用品・パーソナル用品	144,779	13,359.97	1,934,243,213	12,515.45	1,811,974,336	0.88
アメリカ	株式	VISA INC-CLASS A SHARES	ソフトウェア・サービス	99,372	19,595.92	1,947,286,736	18,018.98	1,790,582,389	0.87
アメリカ	株式	INTEL CORP	半導体・半導体製造装置	252,322	6,202.22	1,564,956,984	6,038.97	1,523,766,679	0.74
アメリカ	株式	BERKSHIRE HATHAWAY INC-CL B	各種金融	76,240	23,177.52	1,767,054,513	19,935.47	1,519,880,949	0.73
アメリカ	株式	UNITEDHEALTH GROUP INC	ヘルスケア機器・サービス	54,960	27,577.52	1,515,660,609	27,346.80	1,502,980,260	0.73
アメリカ	株式	MASTERCARD INC	ソフトウェア・サービス	52,070	30,049.05	1,564,654,101	27,561.19	1,435,111,554	0.69
アメリカ	株式	VERIZON COMMUNICATIONS INC	電気通信サービス	239,877	6,521.09	1,564,260,370	5,960.61	1,429,815,428	0.69
スイス	株式	ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	40,698	33,875.82	1,378,678,460	34,959.24	1,422,771,475	0.69
アメリカ	株式	AT&T INC	電気通信サービス	423,757	4,031.06	1,708,191,248	3,289.93	1,394,131,248	0.67
アメリカ	株式	HOME DEPOT INC	小売	63,270	25,254.00	1,597,820,675	21,341.56	1,350,280,691	0.65
アメリカ	株式	MERCK & CO. INC.	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	147,713	9,027.44	1,333,471,501	8,374.46	1,237,017,866	0.60
アメリカ	株式	BANK OF AMERICA CORP	銀行	495,569	3,433.58	1,701,579,028	2,398.61	1,188,678,345	0.57
アメリカ	株式	COCA-COLA CO/THE	食品・飲料・タバコ	236,032	5,883.34	1,388,658,820	4,897.34	1,155,931,315	0.56
アメリカ	株式	PFIZER INC	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	321,540	4,008.20	1,288,799,490	3,555.47	1,143,227,785	0.55
アメリカ	株式	THE WALT DISNEY CO.	メディア・娯楽	104,622	14,296.99	1,495,780,431	10,861.23	1,136,324,024	0.55
アメリカ	株式	PEPSICO INC	食品・飲料・タバコ	80,841	14,875.97	1,202,588,509	13,655.98	1,103,963,758	0.53
スイス	株式	NOVARTIS AG-REG	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	124,523	9,860.59	1,227,870,373	8,807.73	1,096,765,959	0.53
アメリカ	株式	CISCO SYSTEMS INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	245,910	5,034.47	1,238,027,944	4,388.02	1,079,059,375	0.52
アメリカ	株式	WALMART INC	食品・生活必需品小売り	82,432	12,890.91	1,062,623,782	12,536.12	1,033,378,079	0.50

アメリカ	株式	NETFLIX INC	メディア・娯楽	25,410	31,818.62	808,511,314	40,371.57	1,025,841,766	0.50
アメリカ	株式	COMCAST CORP-CLASS A	メディア・娯楽	263,844	4,887.55	1,289,552,141	3,862.37	1,019,064,918	0.49

ロ. 種類別及び業種別の投資比率

種類	国内 / 国外	業種	投資比率 (%)
株式	国外	エネルギー	3.44
		素材	3.91
		資本財	6.15
		商業・専門サービス	1.23
		運輸	1.82
		自動車・自動車部品	0.92
		耐久消費財・アパレル	1.78
		消費者サービス	1.45
		メディア・娯楽	6.14
		小売	5.24
		食品・生活必需品小売り	1.69
		食品・飲料・タバコ	5.03
		家庭用品・パーソナル用品	2.31
		ヘルスケア機器・サービス	5.26
		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	9.31
		銀行	6.04
		各種金融	4.19
		保険	3.40
		不動産	0.49
		ソフトウェア・サービス	11.06
テクノロジー・ハードウェアおよび機器	5.02		
電気通信サービス	2.41		
公益事業	3.93		
半導体・半導体製造装置	3.62		
投資証券			2.65
合計			98.47

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

資産の種類	地域	取引所	名称	建別	数量	通貨	契約額等 (各通貨)	契約額等(円)	評価額 (各通貨)	評価額(円)	投資 比率 (%)
	アメリカ	シカゴ商業取引所	SP EMINI2006	買建	190	米ドル	24,304,100	2,645,015,203	24,806,400	2,699,680,512	1.31

株価指数先物取引	ドイツ	ユーレックス・ドイツ金融先物取引所	DJSTX5 2006	買建	190	ユーロ	4,561,560	545,334,498	5,063,500	605,341,425	0.29
----------	-----	-------------------	-------------	----	-----	-----	-----------	-------------	-----------	-------------	------

(注)先物取引は、主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しています。

資産の種類	名称	建別	数量	契約額等(円)	評価額(円)	投資比率(%)
為替予約取引	米ドル	買建	19,100,000.00	2,075,359,980	2,074,373,000	1.00
	ユーロ	買建	3,300,000.00	394,925,780	394,191,000	0.19

(注)為替予約取引は、わが国における対顧客先物相場の仲値で評価しています。

海外新興国株式インデックスMSCIEマージング(ヘッジなし)マザーファンド

以下の運用状況は2020年3月31日現在です。

・投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

投資状況

資産の種類	国・地域	時価合計(円)	投資比率(%)
株式	アメリカ	366,295,715	0.29
	アルゼンチン	150,890,726	0.12
	メキシコ	2,122,236,967	1.71
	ブラジル	5,818,846,992	4.68
	チリ	701,773,840	0.56
	コロンビア	278,431,822	0.22
	ペルー	309,869,820	0.25
	オランダ	78,847,662	0.06
	スペイン	9,410,326	0.01
	ベルギー	10,920,892	0.01
	ルクセンブルク	55,602,525	0.04
	ギリシャ	233,936,384	0.19
	トルコ	514,811,310	0.41
	チェコ	125,565,314	0.10
	ハンガリー	277,643,606	0.22
	ポーランド	820,699,883	0.66
	ロシア	3,429,262,723	2.76
	ケイマン	16,813,360,235	13.52
	バミューダ	745,068,261	0.60
	香港	4,436,273,658	3.57
シンガポール	28,423,418	0.02	
マレーシア	2,168,008,836	1.74	
タイ	2,492,569,617	2.00	
フィリピン	933,450,646	0.75	

	インドネシア	1,744,311,911	1.40
	韓国	13,530,885,485	10.88
	台湾	13,994,014,489	11.25
	中国	24,339,521,028	19.57
	インド	8,806,673,820	7.08
	パキスタン	22,281,209	0.02
	カタール	1,129,162,829	0.91
	エジプト	154,042,206	0.12
	南アフリカ	4,013,899,430	3.23
	ジャージー	100,841,481	0.08
	アラブ首長国連邦	638,525,003	0.51
	サウジアラビア	2,944,540,772	2.37
	小計	114,340,900,841	91.96
社債券	インド	0	0.00
投資証券	メキシコ	57,852,141	0.05
	南アフリカ	81,700,569	0.07
	小計	139,552,710	0.11
コール・ローン等、その他資産（負債控除後）		9,862,022,062	7.93
合計（純資産総額）		124,342,475,613	100.00

その他の資産の投資状況

資産の種類	建別	国・地域	時価合計（円）	投資比率（％）
株価指数先物取引	買建	アメリカ	10,419,040,297	8.38

(注)先物取引は、主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しています。

資産の種類	建別	国・地域	時価合計（円）	投資比率（％）
為替予約取引	買建		638,954,510	0.51
	売建		7,893,780	0.01

(注)為替予約取引は、わが国における対顧客先物相場の仲値で評価しています。

投資資産

投資有価証券の主要銘柄

イ. 評価額上位銘柄明細

国・地域	種類	銘柄名	業種	数量又は額面総額	簿価単価（円）	簿価金額（円）	評価単価（円）	評価金額（円）	投資比率（％）
ケイマン	株式	ALIBABA GROUP HOLDING-SP-ADR	小売	389,600	20,260.88	7,893,639,276	20,815.91	8,109,880,133	6.52
中国	株式	TENCENT HOLDINGS LTD	メディア・娯楽	1,284,900	5,021.12	6,451,643,770	5,287.46	6,793,862,494	5.46
台湾	株式	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	半導体・半導体製造装置	5,517,355	994.42	5,486,623,332	960.32	5,298,453,940	4.26

韓国	株式	SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	1,070,510	4,331.24	4,636,641,247	4,268.21	4,569,172,192	3.67
中国	株式	CHINA CONSTRUCTION BANK-H	銀行	21,507,920	87.32	1,878,260,844	87.60	1,884,300,268	1.52
南アフリカ	株式	NASPERS LTD-N SHS	小売	99,460	14,482.79	1,440,458,542	15,178.72	1,509,675,889	1.21
中国	株式	PING AN INSURANCE GROUP CO-H	保険	1,239,500	1,268.51	1,572,323,103	1,058.61	1,312,154,532	1.06
香港	株式	CHINA MOBILE LTD	電気通信サービス	1,375,200	936.32	1,287,637,715	784.83	1,079,306,467	0.87
中国	株式	IND & COMM BK OF CHINA - H	銀行	14,530,575	76.23	1,107,770,352	73.28	1,064,928,405	0.86
インド	株式	RELIANCE INDUSTRIES LTD	エネルギー	636,492	1,943.21	1,236,841,566	1,504.45	957,574,845	0.77
韓国	株式	SK HYNIX INC	半導体・半導体製造装置	121,760	7,180.66	874,317,893	7,466.03	909,065,030	0.73
インド	株式	HOUSING DEVELOPMENT FINANCE	銀行	366,775	3,106.47	1,139,375,975	2,275.77	834,697,376	0.67
中国	株式	BANK OF CHINA LTD - H	銀行	18,012,000	45.34	816,829,790	40.71	733,376,592	0.59
ケイマン	株式	JD.COM INC-ADR	小売	164,820	3,548.94	584,937,330	4,395.64	724,489,995	0.58
台湾	株式	HON HAI PRECISION INDUSTRY	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	2,786,212	284.50	792,698,211	251.30	700,175,076	0.56
インド	株式	INFOSYS LTD	ソフトウェア・サービス	760,058	1,089.53	828,113,289	914.98	695,439,389	0.56
韓国	株式	SAMSUNG ELECTRONICS-PFD	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	183,450	3,563.09	653,649,267	3,608.14	661,913,283	0.53
ケイマン	株式	BAIDU INC - SPON ADR	メディア・娯楽	61,420	13,388.26	822,307,334	10,768.72	661,415,304	0.53
ロシア	株式	SBERBANK-SPONSORED ADR	銀行	614,550	1,591.09	977,807,187	988.17	607,283,807	0.49
ロシア	株式	GAZPROM PAO-SPON ADR	エネルギー	1,208,490	742.22	896,966,173	476.89	576,320,494	0.46
ロシア	株式	LUKOIL PJSC-SPON-ADR	エネルギー	95,035	9,341.96	887,813,853	6,040.06	574,017,577	0.46
ケイマン	株式	NETEASE INC-ADR	メディア・娯楽	15,865	30,469.13	483,392,829	33,401.01	529,907,108	0.43
ブラジル	株式	VALE SA	素材	602,084	1,018.10	612,982,742	873.82	526,118,098	0.42
インド	株式	TATA CONSULTANCY SVCS LTD	ソフトウェア・サービス	200,510	3,106.55	622,896,105	2,596.60	520,646,271	0.42
カタール	株式	QATAR NATIONAL BANK	銀行	999,720	559.35	559,202,979	512.15	512,009,097	0.41
インド	株式	ICICI BANK LTD	銀行	1,065,187	694.28	739,546,977	457.56	487,391,224	0.39
ケイマン	株式	TAL EDUCATION GROUP- ADR	消費者サービス	85,750	4,443.52	381,032,603	5,659.16	485,272,970	0.39
ブラジル	株式	ITAU UNIBANCO HOLDING S-PREF	銀行	945,915	704.16	666,079,859	504.38	477,101,743	0.38
インド	株式	HINDUSTAN UNILEVER LIMITED	家庭用品・パーソナル用品	143,950	2,781.70	400,426,981	3,189.15	459,078,286	0.37
韓国	株式	NAVER CORP	メディア・娯楽	31,195	13,053.68	407,209,675	14,495.00	452,171,525	0.36

ロ.種類別及び業種別の投資比率

種類	国内/国外	業種	投資比率(%)
株式	国外	エネルギー	5.22
		素材	6.11
		資本財	2.80

	商業・専門サービス	0.26
	運輸	1.48
	自動車・自動車部品	1.67
	耐久消費財・アパレル	1.12
	消費者サービス	1.42
	メディア・娯楽	8.03
	小売	9.99
	食品・生活必需品小売り	1.51
	食品・飲料・タバコ	3.47
	家庭用品・パーソナル用品	1.12
	ヘルスケア機器・サービス	0.95
	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2.25
	銀行	14.59
	各種金融	2.00
	保険	3.43
	不動産	2.55
	ソフトウェア・サービス	1.74
	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	7.72
	電気通信サービス	4.01
	公益事業	2.28
	半導体・半導体製造装置	6.20
社債券		
投資証券		0.11
合計		92.07

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

資産の種類	地域	取引所	名称	建別	数量	通貨	契約額等 (各通貨)	契約額等(円)	評価額 (各通貨)	評価額(円)	投資 比率 (%)
株価指数先物取引	アメリカ	ニューヨーク証券取引所	MINMSCIE2006	買建	2,292	米ドル	90,164,655	9,812,619,403	95,736,840	10,419,040,297	8.38

(注)先物取引は、主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しています。

資産の種類	名称	建別	数量	契約額等(円)	評価額(円)	投資 比率 (%)
為替予約取引	米ドル	買建	5,872,197.30	638,865,138	638,954,510	0.51
	エジプト債券	売建	1,144,026.11	7,825,138	7,893,780	0.01

(注)為替予約取引は、わが国における対顧客先物相場の仲値で評価しています。

海外リートインデックス（ヘッジなし）マザーファンド

以下の運用状況は2020年 3月31日現在です。

・投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

投資状況

資産の種類	国・地域	時価合計（円）	投資比率（％）
投資証券	アメリカ	81,166,545,351	80.60
	カナダ	1,966,408,377	1.95
	ドイツ	320,155,592	0.32
	イタリア	18,679,019	0.02
	フランス	2,688,409,769	2.67
	オランダ	182,984,391	0.18
	スペイン	569,589,343	0.57
	ベルギー	1,325,050,925	1.32
	アイルランド	149,721,951	0.15
	イギリス	5,159,001,411	5.12
	オーストラリア	5,078,948,283	5.04
	ニュージーランド	244,273,242	0.24
	香港	2,096,849,149	2.08
	シンガポール	4,365,940,824	4.34
	韓国	17,713,152	0.02
	イスラエル	95,051,275	0.09
	ガンジー	209,511,498	0.21
マン島	22,911,545	0.02	
	小計	105,677,745,097	104.93
コール・ローン等、その他資産（負債控除後）		4,969,610,322	4.93
合計（純資産総額）		100,708,134,775	100.00

その他の資産の投資状況

資産の種類	建別	国・地域	時価合計（円）	投資比率（％）
為替予約取引	買建		7,778,933,000	7.72
	売建		378,852,000	0.38

(注)為替予約取引は、わが国における対顧客先物相場の仲値で評価しています。

投資資産

投資有価証券の主要銘柄

イ. 評価額上位銘柄明細

国・地域	種類	銘柄名	数量又は 額面総額	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
アメリカ	投資証券	PROLOGIS INC	746,934	9,248.70	6,908,175,765	9,019.83	6,737,218,000	6.69
アメリカ	投資証券	EQUINIX INC	86,335	63,382.14	5,472,097,784	70,181.20	6,059,094,083	6.02
アメリカ	投資証券	DIGITAL REALTY TRUST INC	266,207	13,774.76	3,666,939,092	15,215.52	4,050,478,545	4.02
アメリカ	投資証券	PUBLIC STORAGE	152,152	25,008.84	3,805,145,739	21,943.39	3,338,731,117	3.32
アメリカ	投資証券	EQUITY RESIDENTIAL-REIT	353,242	8,772.48	3,098,809,552	6,810.58	2,405,783,395	2.39
アメリカ	投資証券	AVALONBAY COMMUNITIES INC	141,389	22,510.68	3,182,763,566	16,553.04	2,340,418,197	2.32
アメリカ	投資証券	WELLTOWER INC	410,373	8,868.98	3,639,593,665	5,134.59	2,107,100,960	2.09
アメリカ	投資証券	REALTY INCOME CORP	346,589	7,887.04	2,733,563,590	5,782.13	2,004,025,393	1.99
アメリカ	投資証券	ALEXANDRIA REAL ESTATE EQUITIES INC	124,074	16,759.35	2,079,399,790	15,742.25	1,953,205,105	1.94
アメリカ	投資証券	SIMON PROPERTY GROUP INC	310,593	15,631.14	4,854,924,504	6,123.86	1,902,029,322	1.89
香港	投資証券	LINK REIT	1,994,700	1,209.43	2,412,455,144	905.58	1,806,360,426	1.79
アメリカ	投資証券	ESSEX PROPERTY TRUST INC	66,861	32,927.34	2,201,555,110	24,542.25	1,640,919,598	1.63
アメリカ	投資証券	BOSTON PROPERTIES INC	145,509	14,265.92	2,075,820,711	10,116.83	1,472,090,806	1.46
アメリカ	投資証券	EXTRA SPACE STORAGE INC	131,314	11,841.32	1,554,931,493	10,529.30	1,382,644,828	1.37
アメリカ	投資証券	MID-AMERICA APARTMENT COMM	115,369	13,829.57	1,595,504,363	11,658.95	1,345,082,314	1.34
アメリカ	投資証券	DUKE REALTY CORPORATION	372,021	3,663.00	1,362,714,902	3,596.83	1,338,096,851	1.33
アメリカ	投資証券	HEALTHPEAK PROPERTIES INC	500,335	3,618.08	1,810,255,635	2,650.01	1,325,893,004	1.32
アメリカ	投資証券	INVITATION HOMES INC	544,860	3,117.57	1,698,643,657	2,306.10	1,256,505,841	1.25
アメリカ	投資証券	SUN COMMUNITIES INC	93,687	15,857.68	1,485,659,240	13,312.08	1,247,169,364	1.24
アメリカ	投資証券	UDR INC	296,695	5,070.34	1,504,347,218	4,105.06	1,217,953,032	1.21
オーストラリア	投資証券	GOODMAN GROUP	1,522,077	956.37	1,455,672,602	788.45	1,200,087,242	1.19
アメリカ	投資証券	VENTAS INC	377,113	6,675.65	2,517,475,518	3,133.21	1,181,576,372	1.17
アメリカ	投資証券	EQUITY LIFESTYLE PROPERTIES	184,076	7,237.07	1,332,172,600	6,159.77	1,133,867,295	1.13
アメリカ	投資証券	WP CAREY INC	174,598	9,036.65	1,577,782,635	6,454.70	1,126,978,985	1.12
イギリス	投資証券	SEGO PLC	1,107,888	1,077.83	1,194,120,520	999.63	1,107,481,803	1.10
アメリカ	投資証券	MEDICAL PROPERTIES TRUST INC	522,366	2,135.89	1,115,716,509	1,914.31	999,975,524	0.99
アメリカ	投資証券	HOST HOTELS & RESORTS INC	725,705	1,818.20	1,319,477,326	1,242.83	901,934,186	0.90
アメリカ	投資証券	CAMDEN PROPERTY TRUST	97,818	11,636.33	1,138,242,928	9,069.89	887,198,715	0.88
フランス	投資証券	UNIBAIL-RODAMCO-WESTFIELD	139,392	14,996.84	2,090,440,404	5,865.12	817,551,225	0.81
アメリカ	投資証券	VICI PROPERTIES INC	465,091	2,503.64	1,164,424,934	1,745.63	811,878,291	0.81

ロ.種類別の投資比率

種類	投資比率(%)
投資証券	104.93
合計	104.93

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

資産の種類	名称	建別	数量	契約額等(円)	評価額(円)	投資比率(%)
為替予約取引	米ドル	買建	53,500,000.00	5,810,528,000	5,821,870,000	5.78
	加ドル	買建	2,000,000.00	153,008,000	153,180,000	0.15
	ユーロ	買建	3,000,000.00	358,647,600	358,620,000	0.36
	英ポンド	買建	4,300,000.00	575,130,160	573,233,000	0.57
	豪ドル	買建	6,000,000.00	400,771,200	396,480,000	0.39
	ニュージーランドドル	買建	400,000.00	26,031,200	25,900,000	0.03
	香港ドル	買建	13,000,000.00	182,253,500	182,390,000	0.18
	シンガポールドル	買建	3,500,000.00	266,891,800	267,260,000	0.27
	米ドル	売建	2,200,000.00	236,852,000	239,404,000	0.24
	ユーロ	売建	900,000.00	107,445,600	107,586,000	0.11
	豪ドル	売建	100,000.00	6,605,000	6,608,000	0.01
	香港ドル	売建	1,800,000.00	24,994,800	25,254,000	0.03

(注)為替予約取引は、わが国における対顧客先物相場の仲値で評価しています。

日本リートインデックスJ - R E I Tマザーファンド

以下の運用状況は2020年 3月31日現在です。

- ・投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

投資状況

資産の種類	国・地域	時価合計(円)	投資比率(%)
投資証券	日本	109,040,686,335	98.36
コール・ローン等、その他資産(負債控除後)		1,814,101,197	1.64
合計(純資産総額)		110,854,787,532	100.00

投資資産

投資有価証券の主要銘柄

イ. 評価額上位銘柄明細

国・地域	種類	銘柄名	数量又は額面総額	簿価単価(円)	簿価金額(円)	評価単価(円)	評価金額(円)	投資比率(%)
日本	投資証券	日本ビルファンド投資法人 投資証券	12,809	793,708.83	10,166,616,403	724,000	9,273,716,000	8.37
日本	投資証券	ジャパンリアルエステイト投資法人 投資証券	13,228	706,919.16	9,351,126,648	633,000	8,373,324,000	7.55
日本	投資証券	野村不動産マスターファンド投資法人 投資証券	42,703	181,201.37	7,737,842,103	136,600	5,833,229,800	5.26
日本	投資証券	日本プロロジスリート投資法人 投資証券	19,904	278,905.25	5,551,330,096	271,200	5,397,964,800	4.87
日本	投資証券	大和ハウスリート投資法人 投資証券	18,873	280,578.31	5,295,354,444	263,700	4,976,810,100	4.49
日本	投資証券	G L P投資法人 投資証券	32,945	132,759.45	4,373,760,080	121,600	4,006,112,000	3.61

日本	投資証券	アドバンス・レジデンス投資法人 投資証券	12,546	335,740.37	4,212,198,682	313,500	3,933,171,000	3.55
日本	投資証券	オリックス不動産投資法人 投資証券	26,356	218,990.65	5,771,717,571	142,000	3,742,552,000	3.38
日本	投資証券	ユナイテッド・アーバン投資法人 投資証券	29,700	193,968.97	5,760,878,409	107,500	3,192,750,000	2.88
日本	投資証券	日本リテールファンド投資法人 投資証券	25,000	224,947.7	5,623,692,500	122,200	3,055,000,000	2.76
日本	投資証券	日本プライムリアルティ投資法人 投資証券	8,693	483,292.14	4,201,258,573	325,000	2,825,225,000	2.55
日本	投資証券	積水ハウス・リート投資法人 投資証券	38,676	88,176.14	3,410,300,390	69,200	2,676,379,200	2.41
日本	投資証券	日本アコモデーションファンド投資法人 投資証券	4,395	649,162.5	2,853,069,187	584,000	2,566,680,000	2.32
日本	投資証券	産業ファンド投資法人 投資証券	17,035	154,192.18	2,626,663,786	146,200	2,490,517,000	2.25
日本	投資証券	ケネディクス・オフィス投資法人 投資証券	4,092	803,960.3	3,289,805,547	569,000	2,328,348,000	2.10
日本	投資証券	アクティブ・プロパティーズ投資法人 投資証券	6,628	518,376.6	3,435,800,104	349,000	2,313,172,000	2.09
日本	投資証券	森ヒルズリート投資法人 投資証券	15,219	166,797.29	2,538,487,956	143,500	2,183,926,500	1.97
日本	投資証券	日本ロジスティクスファンド投資法人 投資証券	8,643	264,600.36	2,286,940,911	239,900	2,073,455,700	1.87
日本	投資証券	大和証券オフィス投資法人 投資証券	3,053	808,909.21	2,469,599,818	596,000	1,819,588,000	1.64
日本	投資証券	ラサールロジポート投資法人 投資証券	12,298	149,596.93	1,839,743,045	145,800	1,793,048,400	1.62
日本	投資証券	コンフォリア・レジデンシャル投資法人 投資証券	5,759	331,371.5	1,908,368,468	307,500	1,770,892,500	1.60
日本	投資証券	三井不動産ロジスティクスパーク投資法人 投資証券	3,764	443,626.8	1,669,811,275	456,000	1,716,384,000	1.55
日本	投資証券	ジャパンエクセレント投資法人 投資証券	12,235	172,533.64	2,110,949,085	124,200	1,519,587,000	1.37
日本	投資証券	イオンリート投資法人 投資証券	14,275	141,502.26	2,019,944,761	103,500	1,477,462,500	1.33
日本	投資証券	ケネディクス・レジデンシャル・ネクスト投資法人 投資証券	8,630	199,475.37	1,721,472,443	168,300	1,452,429,000	1.31
日本	投資証券	フロンティア不動産投資法人 投資証券	4,698	459,044.53	2,156,591,201	304,500	1,430,541,000	1.29
日本	投資証券	プレミア投資法人 投資証券	11,947	149,272.44	1,783,357,840	119,100	1,422,887,700	1.28
日本	投資証券	ヒューリックリート投資法人 投資証券	11,249	191,663.69	2,156,024,848	125,200	1,408,374,800	1.27
日本	投資証券	インヴィンシブル投資法人 投資証券	58,022	60,059.62	3,484,779,271	24,230	1,405,873,060	1.27
日本	投資証券	日本リート投資法人 投資証券	4,296	450,807.45	1,936,668,805	319,000	1,370,424,000	1.24

ロ. 種類別の投資比率

種類	投資比率(%)
投資証券	98.36
合計	98.36

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

マネー・オープン・マザーファンド

以下の運用状況は2020年 3月31日現在です。

・投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

投資状況

資産の種類	国・地域	時価合計（円）	投資比率（％）
コール・ローン等、その他資産（負債控除後）		722,105,447	100.00
合計（純資産総額）		722,105,447	100.00

投資資産

投資有価証券の主要銘柄

イ. 評価額上位銘柄明細

該当事項はありません。

ロ. 種類別の投資比率

該当事項はありません。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

参考情報

運用実績

2020年3月31日現在

基準価額・純資産の推移



基準価額…………… 10,373円
純資産総額…………… 3,497.96億円

※基準価額は、運用管理費用(信託報酬)控除後の1万口当たりの値です。

分配の推移(税引前、1万口当たり)

2019年9月	設定来累計
0円	0円

主要な資産の状況

＜資産構成比＞

資産	比率	資産の内訳	比率
株式	56.6%	日本株式(先物)	17.6%
		海外先進国株式	20.1%
		海外新興国株式	18.9%
不動産投信(REIT)	36.8%	日本REIT	19.0%
		海外先進国REIT	17.8%
債券	191.5%	日本国債(先物)	38.0%
		米国国債(先物)	37.4%
		ドイツ国債(先物)	38.4%
		イギリス国債(先物)	39.5%
豪州国債(先物)	38.2%		
合計	284.8%	合計	284.8%
現金その他	24.2%	現金その他	24.2%

＜通貨別構成比＞

通貨名	比率
日本円	34.4%
アメリカドル	34.4%
ユーロ	5.1%
香港ドル	5.1%
イギリスポンド	4.1%
その他	17.0%

※比率は当ファンド純資産総額比で、先物取引による建玉は含まれません。

※比率は当ファンドの純資産総額比です。

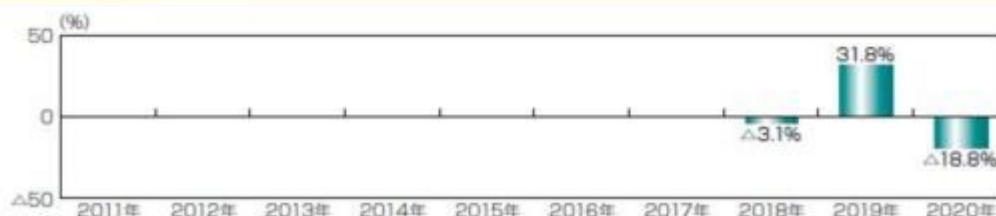
※先物取引にかかる証拠金は「現金その他」に含まれます。

※当ファンドはグローバル3倍3分法ファンド(適格機関投資家向け)を通じて、主な投資対象ごとに次の資産へ投資を行いません。

日本株式(先物)：国内の株価指数先物取引に係る権利など
海外先進国株式：海外株式インデックスMSCI-KOKUSAI(ヘッジなし)マザーファンド
海外新興国株式：海外新興国株式インデックスMSCIマーキング(ヘッジなし)マザーファンド
日本REIT：日本リートインデックスJ-REITマザーファンド
海外先進国REIT：海外リートインデックス(ヘッジなし)マザーファンド
世界国債(先物)：世界の国債先物取引に係る権利など

*日本、米国、ドイツ、イギリス、豪州の国債(先物)を指します。

年間収益率の推移



※ファンドの年間収益率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。

※当ファンドには、ベンチマークはありません。

※2018年は、設定時から2018年末までの騰落率です。

※2020年は、2020年3月末までの騰落率です。

※ファンドの運用実績はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果を約束するものではありません。

※ファンドの運用状況は別途、委託会社のホームページで開示しています。

第2【管理及び運営】

3【資産管理等の概要】

（ 3 ）【信託期間】

<訂正前>

2028年9月21日までとします（2018年10月4日設定）。ただし、約款の規定に基づき、信託契約を解約し、信託を終了させることがあります。

<訂正後>

2028年9月21日までとします（2018年10月4日設定）。ただし、約款の規定に基づき、信託契約を解約し、信託を終了させることがあります。

2020年12月24日付で信託期間を「無期限」に変更予定です。

第3【ファンドの経理状況】

- (1) 当ファンドの中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年大蔵省令第38号）並びに同規則第38条の3及び第57条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づき作成しております。
なお、中間財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。
- (2) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当中間計算期間（2019年9月25日から2020年3月24日まで）の中間財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人による中間監査を受けております。

【中間財務諸表】

【グローバル3倍3分法ファンド（1年決算型）】

(1) 【中間貸借対照表】

(単位：円)

	前計算期間末 2019年9月24日現在	当中間計算期間末 2020年3月24日現在
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	5,113,161,659	4,014,629,231
投資信託受益証券	176,812,517,998	308,102,376,582
親投資信託受益証券	179,420,737	442,630,580
流動資産合計	182,105,100,394	312,559,636,393
資産合計		
	182,105,100,394	312,559,636,393
負債の部		
流動負債		
未払解約金	693,732,647	2,006,874,197
未払受託者報酬	8,762,354	181,661
未払委託者報酬	148,960,972	3,088,253
未払利息	5,529	1,446
その他未払費用	7,815,478	6,376,235
流動負債合計	859,276,980	2,016,521,792
負債合計		
	859,276,980	2,016,521,792
純資産の部		
元本等		
元本	145,744,136,047	335,362,519,601
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	35,501,687,367	24,819,405,000
（分配準備積立金）	12,271,441,085	10,358,603,017
元本等合計	181,245,823,414	310,543,114,601
純資産合計		
	181,245,823,414	310,543,114,601
負債純資産合計		
	182,105,100,394	312,559,636,393

(2) 【中間損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	前中間計算期間 自 2018年10月4日 至 2019年4月3日	当中間計算期間 自 2019年9月25日 至 2020年3月24日
営業収益		
受取利息	34	-
有価証券売買等損益	113,493,184	111,564,707,725
営業収益合計	113,493,218	111,564,707,725
営業費用		

	前中間計算期間 自 2018年10月 4日 至 2019年 4月 3日	当中間計算期間 自 2019年 9月25日 至 2020年 3月24日
支払利息	4,928	837,478
受託者報酬	54,167	35,935,832
委託者報酬	921,820	610,910,067
その他費用	251,055	13,539,191
営業費用合計	1,231,970	661,222,568
営業利益又は営業損失()	112,261,248	112,225,930,293
経常利益又は経常損失()	112,261,248	112,225,930,293
中間純利益又は中間純損失()	112,261,248	112,225,930,293
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額()	3,466,981	400,665,426
期首剰余金又は期首欠損金()	-	35,501,687,367
剰余金増加額又は欠損金減少額	127,534,503	63,238,447,163
中間一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	-
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	127,534,503	63,238,447,163
剰余金減少額又は欠損金増加額	3,366,283	11,734,274,663
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	3,366,283	11,734,274,663
中間追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-	-
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金()	232,962,487	24,819,405,000

(3)【中間注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

有価証券の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券 移動平均法に基づき当該投資信託受益証券の基準価額で評価しております。 親投資信託受益証券 移動平均法に基づき当該親投資信託受益証券の基準価額で評価しております。
-----------------	--

(中間貸借対照表に関する注記)

	前計算期間末 2019年 9月24日現在	当中間計算期間末 2020年 3月24日現在
1. 期首元本額	150,000,000円	145,744,136,047円
期中追加設定元本額	149,685,081,121円	235,600,367,255円
期中一部解約元本額	4,090,945,074円	45,981,983,701円
2. 受益権の総数	145,744,136,047口	335,362,519,601口
3. 元本の欠損 純資産額が元本総額を下回る場合におけるその差額	- 円	24,819,405,000円

(中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

前中間計算期間 自 2018年10月 4日 至 2019年 4月 3日	当中間計算期間 自 2019年 9月25日 至 2020年 3月24日
---	---

該当事項はありません。	該当事項はありません。
-------------	-------------

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

	前計算期間末 2019年 9月24日現在	当中間計算期間末 2020年 3月24日現在
中間貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありません。	中間貸借対照表計上額は中間計算期間末日の時価で計上しているため、その差額はありません。
時価の算定方法	(1)有価証券 売買目的有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。 (2)デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3)上記以外の金融商品 短期間で決済されることから、時価は帳簿価額と近似しているため、当該金融商品の時価を帳簿価額としております。	(1)有価証券 同左 (2)デリバティブ取引 同左 (3)上記以外の金融商品 同左
金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（1口当たり情報）

	前計算期間末 2019年 9月24日現在	当中間計算期間末 2020年 3月24日現在
1口当たり純資産額	1.2436円	0.9260円
(1万口当たり純資産額)	(12,436円)	(9,260円)

当ファンドは、「グローバル3倍3分法ファンド（適格機関投資家向け）」を主要投資対象としており、中間貸借対照表の資産の部に計上された「投資信託受益証券」は同投資信託です。なお、同投資信託の状況は次の通りです。ただし、当該情報は監査の対象外であります。

また、当ファンドは、「マネー・オープン・マザーファンド」を主要投資対象としており、中間貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は同親投資信託です。なお、同親投資信託の状況は次の通りです。ただし、当該情報は監査の対象外であります。

(参考)

グローバル3倍3分法ファンド（適格機関投資家向け）

貸借対照表

(単位：円)

	2019年 9月24日現在	2020年 3月24日現在
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	39,407,193,115	45,316,639,306
親投資信託受益証券	209,112,965,481	362,203,501,128
派生商品評価勘定	3,857,773,616	9,963,890,226
前払金	-	9,292,640,000
差入委託証拠金	17,666,262,156	56,649,323,847
流動資産合計	270,044,194,368	483,425,994,507
資産合計	270,044,194,368	483,425,994,507
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	1,481,140,000	11,078,978,507
前受金	1,855,075,000	-
未払受託者報酬	4,639,997	275,958
未払委託者報酬	13,920,025	827,875
未払利息	42,613	16,326
その他未払費用	1,195,472	767,122
流動負債合計	3,356,013,107	11,080,865,788
負債合計	3,356,013,107	11,080,865,788
純資産の部		
元本等		
元本	211,197,961,092	503,077,103,600
剰余金		
剰余金又は欠損金（ ）	55,490,220,169	30,731,974,881
（分配準備積立金）	18,776,777,498	71,615,733,142
元本等合計	266,688,181,261	472,345,128,719
純資産合計	266,688,181,261	472,345,128,719
負債純資産合計	270,044,194,368	483,425,994,507

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき当該親投資信託受益証券の基準価額で評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	(1) デリバティブ取引 個別法に基づき原則として時価で評価しております。 (2) 為替予約取引 原則として、わが国における計算期間末日の対顧客先物売買相場の仲値で評価しております。
3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建取引等の処理基準 「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条及び第61条にしたがって処理しております。

(貸借対照表に関する注記)

		2019年 9月24日現在	2020年 3月24日現在
1.	期首	2018年10月 5日	2019年 9月25日
	期首元本額	297,000,000円	211,197,961,092円
	期首からの追加設定元本額	210,910,549,978円	294,875,585,010円
	期首からの一部解約元本額	9,588,886円	2,996,442,502円
2.	受益権の総数	211,197,961,092口	503,077,103,600口
3.	元本の欠損 純資産額が元本総額を下回る場合におけるその差額	- 円	30,731,974,881円

期首は当該投資信託の期首日であります。

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

	2019年 9月24日現在	2020年 3月24日現在
貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
時価の算定方法	(1)有価証券 売買目的有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。 (2)デリバティブ取引 「デリバティブ取引等に関する注記」に記載しております。 (3)上記以外の金融商品 短期間で決済されることから、時価は帳簿価額と近似しているため、当該金融商品の時価を帳簿価額としております。	(1)有価証券 同左 (2)デリバティブ取引 同左 (3)上記以外の金融商品 同左
金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（デリバティブ取引等に関する注記）

取引の時価等に関する事項

（株式関連）

（2019年 9月24日現在）

（単位：円）

区分	種類	契約額等	時価	評価損益
			うち1年超	

市場取引	株価指数先物取引 買建	52,804,905,000	-	55,011,710,000	2,206,805,000
合計		52,804,905,000	-	55,011,710,000	2,206,805,000

(2020年 3月24日現在)

(単位:円)

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引	株価指数先物取引 買建	91,769,560,000	-	91,184,940,000	584,620,000
合計		91,769,560,000	-	91,184,940,000	584,620,000

(注) 1. 時価の算定方法

株価指数先物取引の時価については、以下のように評価しております。

原則として本書における開示対象ファンドの中間計算期間末日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、同中間計算期間末日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。

2. 株価指数先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
3. 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。
4. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

(債券関連)

(2019年 9月24日現在)

(単位:円)

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引	債券先物取引 買建	538,000,080,216	-	538,172,900,432	172,820,216
合計		538,000,080,216	-	538,172,900,432	172,820,216

(2020年 3月24日現在)

(単位:円)

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		

市場取引	債券先物取引				
	買建	915,185,894,425	-	914,661,039,444	524,854,981
	合計	915,185,894,425	-	914,661,039,444	524,854,981

(注) 1. 時価の算定方法

債券先物取引の時価については、以下のように評価しております。

原則として本書における開示対象ファンドの中間計算期間末日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、同中間計算期間末日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。

2. 債券先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。

3. 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。

また契約額等及び時価の邦貨換算は、本書における開示対象ファンドの中間計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値で行っております。

4. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

(1口当たり情報)

2019年 9月24日現在		2020年 3月24日現在	
1口当たり純資産額	1.2627円	1口当たり純資産額	0.9389円
(1万口当たり純資産額)	(12,627円)	(1万口当たり純資産額)	(9,389円)

「グローバル3倍3分法ファンド（適格機関投資家向け）」は、「海外株式インデックスMSCI-KOK USA I（ヘッジなし）マザーファンド」「海外新興国株式インデックスMSCIエマージング（ヘッジなし）マザーファンド」「海外リートインデックス（ヘッジなし）マザーファンド」「日本リートインデックス」-REITマザーファンド」を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は同親投資信託です。なお、同親投資信託の状況は次の通りです。ただし、当該情報は監査の対象外であります。

海外株式インデックスMSCI-KOK USA I（ヘッジなし）マザーファンド

貸借対照表

(単位：円)

	2019年 9月24日現在	2020年 3月24日現在
資産の部		
流動資産		
預金	378,871,259	130,501,690
コール・ローン	2,535,765,623	1,549,052,821
出資金	13,993,567	-
株式	154,271,771,168	173,070,123,076
投資証券	4,472,507,084	4,540,824,370
派生商品評価勘定	21,298,193	32,989,907
未収入金	6,400,944	20,357,756
未収配当金	216,455,325	402,268,350
その他未収収益	-	39,693
差入委託証拠金	573,871,044	559,526,054
流動資産合計	162,490,934,207	180,305,683,717
資産合計	162,490,934,207	180,305,683,717
負債の部		

	2019年 9月24日現在	2020年 3月24日現在
流動負債		
派生商品評価勘定	16,070,521	269,732,612
未払金	11,744,986	-
未払解約金	81,969,815	455,369,748
未払利息	2,742	558
流動負債合計	109,788,064	725,102,918
負債合計	109,788,064	725,102,918
純資産の部		
元本等		
元本	63,373,285,462	92,760,621,960
剰余金		
剰余金又は欠損金（ ）	99,007,860,681	86,819,958,839
元本等合計	162,381,146,143	179,580,580,799
純資産合計	162,381,146,143	179,580,580,799
負債純資産合計	162,490,934,207	180,305,683,717

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>出資金、株式及び投資証券は移動平均法に基づき、以下のとおり原則として時価で評価しております。</p> <p>(1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等における計算期間末日の最終相場（外貨建証券の場合は計算期間末日において知りうる直近の日の最終相場）で評価しております。</p> <p>(2) 金融商品取引所等に上場されていない有価証券 当該有価証券については、原則として、日本証券業協会等発表の店頭売買参考統計値（平均値）等、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）又は価格提供会社の提供する価額のいずれかから入手した価額で評価しております。</p> <p>(3) 時価が入手できなかった有価証券 適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、投資信託委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額もしくは受託者と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	<p>(1) デリバティブ取引 個別法に基づき原則として時価で評価しております。</p> <p>(2) 為替予約取引 原則として、わが国における計算期間末日の対顧客先物売買相場の仲値で評価しております。</p>
3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	<p>外貨建取引等の処理基準 「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条及び第61条にしたがって処理しております。</p>

(貸借対照表に関する注記)

	2019年 9月24日現在	2020年 3月24日現在
1. 期首	2018年10月 5日	2019年 9月25日
期首元本額	36,905,040,443円	63,373,285,462円

期首からの追加設定元本額	29,739,956,021円	37,701,153,183円
期首からの一部解約元本額	3,271,711,002円	8,313,816,685円
元本の内訳		
インデックスファンド海外株式ヘッジなし(DC専用)	18,431,103,739円	19,469,408,506円
DCインデックスバランス(株式20)	111,883,464円	140,113,310円
DCインデックスバランス(株式40)	281,396,173円	350,487,903円
DCインデックスバランス(株式60)	545,674,185円	647,270,327円
DCインデックスバランス(株式80)	556,733,403円	635,930,938円
世界の財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型	2,057,754,830円	2,010,676,046円
日興五大陸株式ファンド	5,104,671,570円	4,764,607,161円
インデックスファンド海外先進国株式(適格機関投資家向け)	75,635,155円	74,942,636円
インデックス・アセットバランス・オープン(適格機関投資家向け)	141,714,299円	165,912,540円
インデックスファンド先進国株式(適格機関投資家向け)	6,930,655,367円	6,779,261,999円
グローバル3倍3分法ファンド(適格機関投資家向け)	20,277,398,112円	48,582,867,495円
アセット・ナビゲーション・ファンド(株式80)	4,877,282円	5,269,910円
アセット・ナビゲーション・ファンド(株式60)	4,161,570円	4,456,177円
アセット・ナビゲーション・ファンド(株式40)	7,457,195円	6,747,064円
アセット・ナビゲーション・ファンド(株式20)	5,934,578円	6,300,822円
国際分散型ファンド40(適格機関投資家向け)	4,234,104,494円	4,449,459,623円
年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド(株式20)	28,818,901円	32,844,615円
年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド(株式40)	78,632,146円	89,463,285円
年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド(株式60)	113,627,458円	122,603,800円
年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド(株式80)	110,488,639円	110,742,710円
インデックスファンド海外株式(ヘッジなし)	4,270,562,902円	4,311,255,093円
計	63,373,285,462円	92,760,621,960円
2. 受益権の総数	63,373,285,462口	92,760,621,960口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする投資信託ごとの元本額

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

	2019年 9月24日現在	2020年 3月24日現在
貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
時価の算定方法	(1)有価証券 売買目的有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。	(1)有価証券 同左

	(2)デリバティブ取引 「デリバティブ取引等に関する注記」に記載しております。 (3)上記以外の金融商品 短期間で決済されることから、時価は帳簿価額と近似しているため、当該金融商品の時価を帳簿価額としております。	(2)デリバティブ取引 同左 (3)上記以外の金融商品 同左
金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

(デリバティブ取引等に関する注記)

取引の時価等に関する事項

(株式関連)

(2019年 9月24日現在)

(単位：円)

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引	株価指数先物取引 買建	4,689,724,645	-	4,684,469,167	5,255,478
	合計	4,689,724,645	-	4,684,469,167	5,255,478

(2020年 3月24日現在)

(単位：円)

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引	株価指数先物取引 買建	2,299,574,445	-	2,034,968,400	264,606,045
	合計	2,299,574,445	-	2,034,968,400	264,606,045

(注) 1.時価の算定方法

株価指数先物取引の時価については、以下のように評価しております。

原則として本書における開示対象ファンドの中間計算期間末日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、同中間計算期間末日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。

2. 株価指数先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。

3. 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。

また契約額等及び時価の邦貨換算は、本書における開示対象ファンドの中間計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値で行っております。

4. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

(通貨関連)

(2019年 9月24日現在)

(単位：円)

区分	種類	契約額等	うち1年超	時価	評価損益
市場取引以外の取引	為替予約取引				
	買建	3,800,018,350	-	3,810,501,500	10,483,150
	米ドル	3,053,434,200	-	3,065,006,000	11,571,800
	ユーロ	746,584,150	-	745,495,500	1,088,650
	合計	3,800,018,350	-	3,810,501,500	10,483,150

(2020年 3月24日現在)

(単位：円)

区分	種類	契約額等	うち1年超	時価	評価損益
市場取引以外の取引	為替予約取引				
	買建	1,610,988,660	-	1,638,852,000	27,863,340
	米ドル	1,383,694,980	-	1,411,884,000	28,189,020
	ユーロ	227,293,680	-	226,968,000	325,680
	合計	1,610,988,660	-	1,638,852,000	27,863,340

(注) 1. 時価の算定方法

(1) 本書における開示対象ファンドの中間計算期間末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

同中間計算期間末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

同中間計算期間末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- ・ 同中間計算期間末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場の発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物売買相場の仲値をもとに計算しております。
- ・ 同中間計算期間末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場の発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値を用いております。

(2)本書における開示対象ファンドの中間計算期間末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については同中間計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

2.換算において円未満の端数は切り捨てております。

3.契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

(1口当たり情報)

2019年 9月24日現在		2020年 3月24日現在	
1口当たり純資産額	2.5623円	1口当たり純資産額	1.9360円
(1万口当たり純資産額)	(25,623円)	(1万口当たり純資産額)	(19,360円)

海外新興国株式インデックスMSCIEマージング（ヘッジなし）マザーファンド

貸借対照表

(単位：円)

	2019年 9月24日現在	2020年 3月24日現在
資産の部		
流動資産		
預金	411,831,706	4,557,070,169
コール・ローン	1,096,464,467	146,298,947
株式	71,886,451,715	106,111,184,546
投資証券	182,573,552	124,317,125
派生商品評価勘定	5,538,592	23,240,051
未収入金	14,903,462	1,701,921,863
未収配当金	119,128,252	298,775,195
未収利息	-	8,404
差入委託証拠金	5,097,065,037	2,379,531,499
流動資産合計	78,813,956,783	115,342,347,799
資産合計	78,813,956,783	115,342,347,799
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	34,398,870	373,163,553
未払金	61,181,876	-
未払解約金	13,066,519	10,287,117
未払利息	1,185	52
流動負債合計	108,648,450	383,450,722
負債合計	108,648,450	383,450,722
純資産の部		
元本等		
元本	46,209,335,149	87,375,776,300
剰余金		
剰余金又は欠損金()	32,495,973,184	27,583,120,777
元本等合計	78,705,308,333	114,958,897,077
純資産合計	78,705,308,333	114,958,897,077
負債純資産合計	78,813,956,783	115,342,347,799

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	社債券は個別法、株式、新株予約権証券及び投資証券は移動平均法に基づき、以下のとおり原則として時価で評価しております。
--------------------	--

	<p>(1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等における計算期間末日の最終相場（外貨建証券の場合は計算期間末日において知りうる直近の日の最終相場）で評価しております。</p> <p>(2) 金融商品取引所等に上場されていない有価証券 当該有価証券については、原則として、日本証券業協会等発表の店頭売買参考統計値（平均値）等、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）又は価格提供会社の提供する価額のいずれかから入手した価額で評価しております。</p> <p>(3) 時価が入手できなかった有価証券 適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、投資信託委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額もしくは受託者と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	<p>(1) デリバティブ取引 個別法に基づき原則として時価で評価しております。</p> <p>(2) 為替予約取引 原則として、わが国における計算期間末日の対顧客先物売買相場の仲値で評価しております。</p>
3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	<p>外貨建取引等の処理基準 「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条及び第61条にしたがって処理しております。</p>

（貸借対照表に関する注記）

		2019年 9月24日現在	2020年 3月24日現在
1.	期首	2018年10月 5日	2019年 9月25日
	期首元本額	10,818,347,776円	46,209,335,149円
	期首からの追加設定元本額	35,937,724,321円	49,323,995,735円
	期首からの一部解約元本額	546,736,948円	8,157,554,584円
	元本の内訳		
	日興五大陸株式ファンド	1,915,936,305円	1,756,142,081円
	インデックスファンド海外新興国（エマージング）株式	9,814,924,389円	10,450,084,638円
	インデックスファンド新興国株式（適格機関投資家向け）	3,943,743,124円	3,663,304,222円
	グローバル3倍3分法ファンド（適格機関投資家向け）	30,534,731,331円	71,506,245,359円
	計	46,209,335,149円	87,375,776,300円
2.	受益権の総数	46,209,335,149口	87,375,776,300口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

	2019年 9月24日現在	2020年 3月24日現在
貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありません。	同左

時価の算定方法	(1)有価証券 売買目的有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記 「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。 (2)デリバティブ取引 「デリバティブ取引等に関する注記」に記載しております。 (3)上記以外の金融商品 短期間で決済されることから、時価は帳簿価額と近似しているため、当該金融商品の時価を帳簿価額としております。	(1)有価証券 同左 (2)デリバティブ取引 同左 (3)上記以外の金融商品 同左
金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

(デリバティブ取引等に関する注記)

取引の時価等に関する事項

(株式関連)

(2019年 9月24日現在)

(単位：円)

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引	株価指数先物取引 買建	7,696,375,997	-	7,672,120,978	24,255,019
	合計	7,696,375,997	-	7,672,120,978	24,255,019

(2020年 3月24日現在)

(単位：円)

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引	株価指数先物取引 買建	8,993,140,910	-	8,644,267,546	348,873,364
	合計	8,993,140,910	-	8,644,267,546	348,873,364

(注) 1.時価の算定方法

株価指数先物取引の時価については、以下のように評価しております。

原則として本書における開示対象ファンドの中間計算期間末日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、同中間計算期間末日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。

2. 株価指数先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。

3. 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。

また契約額等及び時価の邦貨換算は、本書における開示対象ファンドの中間計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値で行っております。

4. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

(通貨関連)

(2019年 9月24日現在)

(単位：円)

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引				
	買建	2,534,883,693	-	2,530,231,000	4,652,693
	米ドル	1,046,609,000	-	1,044,464,000	2,145,000
	香港ドル	910,649,100	-	908,926,000	1,723,100
	台湾ドル	510,823,813	-	510,090,000	733,813
	カタールリアル	34,000,900	-	33,879,000	121,900
	アラブディルハム	32,800,880	-	32,872,000	71,120
	売建	510,823,813	-	510,776,379	47,434
	米ドル	510,823,813	-	510,776,379	47,434
合計		3,045,707,506	-	3,041,007,379	4,605,259

(2020年 3月24日現在)

(単位：円)

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引				
	買建	2,315,044,915	-	2,304,198,382	10,846,533
	米ドル	2,315,044,915	-	2,304,198,382	10,846,533
	売建	2,315,044,915	-	2,305,248,520	9,796,395
	ブラジルリアル	118,832,685	-	116,876,592	1,956,093

マレーシアリン ギット	165,452,698	-	164,817,987	634,711
インドネシアルピ ア	97,677,902	-	97,677,902	-
韓国ウォン	479,055,000	-	479,055,000	-
台湾ドル	395,280,000	-	393,120,000	2,160,000
インドルピー	745,569,965	-	740,185,000	5,384,965
南アフリカランド	159,630,000	-	159,375,000	255,000
香港・オフショア 人民元	153,546,665	-	154,141,039	594,374
合計	4,630,089,830	-	4,609,446,902	1,050,138

(注) 1. 時価の算定方法

(1) 本書における開示対象ファンドの中間計算期間末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

同中間計算期間末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

同中間計算期間末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- ・ 同中間計算期間末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物売買相場の仲値をもとに計算しております。
- ・ 同中間計算期間末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値を用いております。

(2) 本書における開示対象ファンドの中間計算期間末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については同中間計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

2. 換算において円未満の端数は切り捨てております。

3. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

(1口当たり情報)

2019年 9月24日現在		2020年 3月24日現在	
1口当たり純資産額	1.7032円	1口当たり純資産額	1.3157円
(1万口当たり純資産額)	(17,032円)	(1万口当たり純資産額)	(13,157円)

海外リートインデックス（ヘッジなし）マザーファンド

貸借対照表

(単位：円)

	2019年 9月24日現在	2020年 3月24日現在
資産の部		
流動資産		
預金	1,455,867,992	1,519,274,292
コール・ローン	35,277,833	73,121,074
投資証券	56,996,310,227	83,500,650,190

	2019年 9月24日現在	2020年 3月24日現在
派生商品評価勘定	-	979,800
未収入金	2,315,297,470	355,658,173
未収配当金	87,073,178	271,491,360
流動資産合計	60,889,826,700	85,721,174,889
資産合計	60,889,826,700	85,721,174,889
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	156,195	604,380
未払金	2,414,082,067	1,318,339,114
未払解約金	27,307,114	-
未払利息	38	26
流動負債合計	2,441,545,414	1,318,943,520
負債合計	2,441,545,414	1,318,943,520
純資産の部		
元本等		
元本	26,349,988,728	61,354,691,352
剰余金		
剰余金又は欠損金（ ）	32,098,292,558	23,047,540,017
元本等合計	58,448,281,286	84,402,231,369
純資産合計	58,448,281,286	84,402,231,369
負債純資産合計	60,889,826,700	85,721,174,889

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>株式及び投資証券は移動平均法に基づき、以下のとおり原則として時価で評価しております。</p> <p>(1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等における計算期間末日の最終相場（外貨建証券の場合は計算期間末日において知りうる直近の日の最終相場）で評価しております。</p> <p>(2) 金融商品取引所等に上場されていない有価証券 当該有価証券については、原則として、日本証券業協会等発表の店頭売買参考統計値（平均値）等、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）又は価格提供会社の提供する価額のいずれかから入手した価額で評価しております。</p> <p>(3) 時価が入手できなかった有価証券 適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、投資信託委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額もしくは受託者と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	<p>為替予約取引 原則として、わが国における計算期間末日の対顧客先物売買相場の仲値で評価しております。</p>
3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	<p>外貨建取引等の処理基準 「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条及び第61条にしたがって処理しております。</p>

(貸借対照表に関する注記)

		2019年 9月24日現在	2020年 3月24日現在
1.	期首	2018年10月 5日	2019年 9月25日
	期首元本額	3,085,107,913円	26,349,988,728円
	期首からの追加設定元本額	23,584,145,131円	39,697,536,869円
	期首からの一部解約元本額	319,264,316円	4,692,834,245円
	元本の内訳		
	世界の財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	2,409,954,706円	2,788,655,979円
	インデックスファンド海外先進国リート（適格機関投資家向け）	41,277,362円	40,763,177円
	グローバル3倍3分法ファンド（適格機関投資家向け）	23,496,633,259円	58,171,089,246円
	海外先進国REITインデックスファンド（適格機関投資家向け）	402,123,401円	354,182,950円
	計	26,349,988,728円	61,354,691,352円
2.	受益権の総数	26,349,988,728口	61,354,691,352口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

	2019年 9月24日現在	2020年 3月24日現在
貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
時価の算定方法	(1)有価証券 売買目的有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。 (2)デリバティブ取引 「デリバティブ取引等に関する注記」に記載しております。 (3)上記以外の金融商品 短期間で決済されることから、時価は帳簿価額と近似しているため、当該金融商品の時価を帳簿価額としております。	(1)有価証券 同左 (2)デリバティブ取引 同左 (3)上記以外の金融商品 同左
金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（デリバティブ取引等に関する注記）

取引の時価等に関する事項

（通貨関連）

（2019年 9月24日現在）

(単位:円)

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引				
	買建	1,211,314,595	-	1,211,158,400	156,195
	米ドル	1,187,859,305	-	1,187,710,400	148,905
	シンガポールドル	23,455,290	-	23,448,000	7,290
	合計	1,211,314,595	-	1,211,158,400	156,195

(2020年 3月24日現在)

(単位:円)

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引				
	買建	384,203,580	-	384,579,000	375,420
	米ドル	277,075,000	-	276,550,000	525,000
	加ドル	7,662,700	-	7,648,000	14,700
	ユーロ	35,535,000	-	35,880,000	345,000
	英ポンド	38,533,680	-	38,469,000	64,680
	豪ドル	25,397,200	-	26,032,000	634,800
	合計	384,203,580	-	384,579,000	375,420

(注) 1. 時価の算定方法

(1) 本書における開示対象ファンドの中間計算期間末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

同中間計算期間末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

同中間計算期間末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- ・ 同中間計算期間末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物売買相場の仲値をもとに計算しております。
- ・ 同中間計算期間末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値を用いております。

(2) 本書における開示対象ファンドの中間計算期間末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については同中間計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

2. 換算において円未満の端数は切り捨てております。

3. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

（1口当たり情報）

2019年 9月24日現在		2020年 3月24日現在	
1口当たり純資産額	2.2182円	1口当たり純資産額	1.3756円
(1万口当たり純資産額)	(22,182円)	(1万口当たり純資産額)	(13,756円)

日本リートインデックスJ - REITマザーファンド

貸借対照表

（単位：円）

	2019年 9月24日現在	2020年 3月24日現在
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	1,588,914,975	1,169,908,509
投資証券	61,490,493,560	100,891,953,910
未収入金	-	865,294,525
未収配当金	389,093,728	1,114,504,793
流動資産合計	63,468,502,263	104,041,661,737
資産合計	63,468,502,263	104,041,661,737
負債の部		
流動負債		
未払金	1,200,526,840	1,281,960,804
未払解約金	38,909,284	-
未払利息	1,718	421
流動負債合計	1,239,437,842	1,281,961,225
負債合計	1,239,437,842	1,281,961,225
純資産の部		
元本等		
元本	25,066,587,139	58,545,240,808
剰余金		
剰余金又は欠損金（ ）	37,162,477,282	44,214,459,704
元本等合計	62,229,064,421	102,759,700,512
純資産合計	62,229,064,421	102,759,700,512
負債純資産合計	63,468,502,263	104,041,661,737

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

有価証券の評価基準及び評価方法	<p>投資証券は移動平均法に基づき、以下のとおり原則として時価で評価しております。</p> <p>（1）金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等における計算期間末日の最終相場（外貨建証券の場合は計算期間末日において知りうる直近の日の最終相場）で評価しております。</p> <p>（2）金融商品取引所等に上場されていない有価証券</p>
-----------------	---

	<p>当該有価証券については、原則として、日本証券業協会等発表の店頭売買参考統計値（平均値）等、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）又は価格提供会社の提供する価額のいずれかから入手した価額で評価しております。</p> <p>（3）時価が入手できなかった有価証券</p> <p>適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、投資信託委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額もしくは受託者と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
--	--

（貸借対照表に関する注記）

		2019年 9月24日現在	2020年 3月24日現在
1.	期首	2018年10月 5日	2019年 9月25日
	期首元本額	3,915,431,518円	25,066,587,139円
	期首からの追加設定元本額	21,713,808,001円	34,391,599,716円
	期首からの一部解約元本額	562,652,380円	912,946,047円
	元本の内訳		
	世界の財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	2,233,136,295円	2,856,426,455円
	財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）資産成長型 インデックス・アセットバランス・オープン（適格機関投資家向け）	1,324,410,462円 148,691,553円	1,920,634,946円 186,734,401円
グローバル3倍3分法ファンド（適格機関投資家向け）	21,360,348,829円	53,581,445,006円	
計	25,066,587,139円	58,545,240,808円	
2.	受益権の総数	25,066,587,139口	58,545,240,808口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

	2019年 9月24日現在	2020年 3月24日現在
貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
時価の算定方法	<p>(1)有価証券 売買目的有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。</p> <p>(2)上記以外の金融商品 短期間で決済されることから、時価は帳簿価額と近似しているため、当該金融商品の時価を帳簿価額としております。</p>	<p>(1)有価証券 同左</p> <p>(2)上記以外の金融商品 同左</p>

金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左
-------------------------	---	----

（1口当たり情報）

2019年 9月24日現在		2020年 3月24日現在	
1口当たり純資産額	2.4826円	1口当たり純資産額	1.7552円
(1万口当たり純資産額)	(24,826円)	(1万口当たり純資産額)	(17,552円)

マネー・オープン・マザーファンド

貸借対照表

（単位：円）

	2019年 9月24日現在	2020年 3月24日現在
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	396,746,330	732,197,268
流動資産合計	396,746,330	732,197,268
資産合計	396,746,330	732,197,268
負債の部		
流動負債		
未払解約金	7,271	1,286,018
未払利息	429	263
流動負債合計	7,700	1,286,281
負債合計	7,700	1,286,281
純資産の部		
元本等		
元本	390,398,338	719,320,782
剰余金		
剰余金又は欠損金（ ）	6,340,292	11,590,205
元本等合計	396,738,630	730,910,987
純資産合計	396,738,630	730,910,987
負債純資産合計	396,746,330	732,197,268

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

該当事項はありません。

（貸借対照表に関する注記）

		2019年 9月24日現在	2020年 3月24日現在
1.	期首	2018年10月 4日	2019年 9月25日
	期首元本額	135,882,228円	390,398,338円
	期首からの追加設定元本額	278,328,549円	410,081,091円
	期首からの一部解約元本額	23,812,439円	81,158,647円
	元本の内訳		
	上場インデックスファンド中国A株（バンダ）E F u n d C S I 3 0 0	198,295円	198,295円
	上場インデックスファンド海外債券（ F T S E W G B I ）毎月分配型	19,740円	19,740円
	高金利先進国債券オープン（毎月分配型）	12,262,685円	10,178,150円
	世界銀行債券ファンド（毎月分配型）	13,808,022円	12,140,918円
	高金利先進国債券オープン（資産成長型）	951,470円	831,199円
	資源ファンド（株式と通貨）ブラジルリアル・コース	11,806,817円	6,466,526円
	資源ファンド（株式と通貨）南アフリカランド・コース	3,236,981円	2,011,447円
	資源ファンド（株式と通貨）オーストラリアドル・コー ス	1,315,354円	599,069円
	資源ファンド（株式と通貨）円コース	25,231円	25,650円
	資源ファンド（株式と通貨）メキシコペソ・コース	25,615円	13,153円
	資源ファンド（株式と通貨）トルコリラ・コース	88,232円	43,460円
	資源ファンド（株式と通貨）米ドル・コース	146,129円	96,766円
	資源ファンド（株式と通貨）ブラジルリアル・コース （資産成長型）	13,995円	15,370円
	資源ファンド（株式と通貨）南アフリカランド・コース （資産成長型）	11,472円	11,902円
	資源ファンド（株式と通貨）米ドル・コース（資産成長 型）	43,258円	25,026円
	グローバル3倍3分法ファンド（1年決算型）	176,560,458円	435,617,144円
	グローバル3倍3分法ファンド（隔月分配型）	89,993,708円	182,461,308円
	日興・G S 世界ソブリン・ファンド（毎月分配型）	8,702,713円	8,031,256円
	日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分 配型（米ドルコース）	18,894,122円	17,577,127円
	日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分 配型（円ヘッジコース）	4,649,806円	4,094,590円
	日興・アッシュモア・グローイング・マルチストラテ ジー・ファンド	3,172,415円	2,448,540円
	日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド資産成 長型（米ドルコース）	1,354,917円	1,292,036円
	日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分 配型（ブラジルリアルコース）	4,813,830円	3,601,901円
	日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分 配型（南アフリカランドコース）	919,016円	749,866円
	日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分 配型（トルコリラコース）	34,336,561円	28,126,983円
	日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分 配型（メキシコペソコース）	986,729円	816,258円

日興・世界ソブリン・ファンド V A（適格機関投資家 転売制限付）	675,640円	604,967円
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分 配型（インドネシアルピアコース）	224,871円	256,255円
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分 配型（インドルピーコース）	1,160,256円	965,880円
計	390,398,338円	719,320,782円
2. 受益権の総数	390,398,338口	719,320,782口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

	2019年 9月24日現在	2020年 3月24日現在
貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
時価の算定方法	(1)有価証券 売買目的有価証券 該当事項はありません。 (2)デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3)上記以外の金融商品 短期間で決済されることから、時価は帳簿価額と近似しているため、当該金融商品の時価を帳簿価額としております。	(1)有価証券 同左 (2)デリバティブ取引 同左 (3)上記以外の金融商品 同左
金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（1口当たり情報）

2019年 9月24日現在	2020年 3月24日現在	
1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	1.0162円 (10,162円)	1.0161円 (10,161円)

2【ファンドの現況】

以下のファンドの現況は2020年 3月31日現在です。

【グローバル3倍3分法ファンド（1年決算型）】

【純資産額計算書】

資産総額	350,472,875,556円
負債総額	675,995,124円
純資産総額（ - ）	349,796,880,432円
発行済口数	337,230,102,382口
1口当たり純資産額（ / ）	1.0373円

（参考）

グローバル3倍3分法ファンド（適格機関投資家向け）

純資産額計算書

資産総額	535,891,357,726円
負債総額	5,091,268,969円
純資産総額（ - ）	530,800,088,757円
発行済口数	504,198,254,793口
1口当たり純資産額（ / ）	1.0528円

海外株式インデックスMSCI - KOKUSAI（ヘッジなし）マザーファンド

純資産額計算書

資産総額	207,161,621,278円
負債総額	361,652,618円
純資産総額（ - ）	206,799,968,660円
発行済口数	93,108,573,715口
1口当たり純資産額（ / ）	2.2211円

海外新興国株式インデックスMSCIエマージング（ヘッジなし）マザーファンド

純資産額計算書

資産総額	124,344,221,610円
負債総額	1,745,997円
純資産総額（ - ）	124,342,475,613円
発行済口数	87,495,621,792口

1口当たり純資産額（ / ）	1.4211円
----------------	---------

海外リートインデックス（ヘッジなし）マザーファンド

純資産額計算書

資産総額	107,280,252,565円
負債総額	6,572,117,790円
純資産総額（ - ）	100,708,134,775円
発行済口数	61,335,403,899口
1口当たり純資産額（ / ）	1.6419円

日本リートインデックスJ - R E I Tマザーファンド

純資産額計算書

資産総額	110,946,795,928円
負債総額	92,008,396円
純資産総額（ - ）	110,854,787,532円
発行済口数	58,153,084,211口
1口当たり純資産額（ / ）	1.9063円

マネー・オープン・マザーファンド

純資産額計算書

資産総額	723,699,698円
負債総額	1,594,251円
純資産総額（ - ）	722,105,447円
発行済口数	710,656,421口
1口当たり純資産額（ / ）	1.0161円

第三部【委託会社等の情報】

第1【委託会社等の概況】

1【委託会社等の概況】

<更新後>

(1) 資本金の額

2020年3月末現在	資本金	17,363,045,900円
	発行可能株式総数	230,000,000株
	発行済株式総数	197,012,500株

過去5年間における主な資本金の増減：該当事項はありません。

(2) 会社の意思決定機関（2020年3月末現在）

・株主総会

株主総会は、取締役の選任および定款変更に係る決議などの株式会社の基本的な方針や重要な事項の決定を行ないます。

当社は、毎年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された議決権を有する株主をもって、その事業年度に関する定時株主総会において、その権利を行使することができる株主とみなし、毎年3月31日（事業年度の終了）から3ヶ月以内にこれを招集し、臨時株主総会は必要に応じてこれを招集します。

・取締役会

取締役会は、業務執行の決定を行い、取締役の職務の執行の監督をします。また、取締役会の決議によって重要な業務執行（会社法第399条の13第5項各号に掲げる事項を除く。）の決定の全部又は一部を取締役に委任することができます。

当社の取締役会は10名以内の取締役（監査等委員である取締役を除く。）及び5名以内の監査等委員である取締役で構成され、取締役（監査等委員である取締役を除く。）の任期は選任後1年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会の終結の時までとします。取締役会はその決議をもって、取締役（監査等委員である取締役を除く。）の中から、代表取締役若干名を選定します。

・監査等委員会

当社の監査等委員会は、5名以内の監査等委員である取締役で構成され、監査等委員である取締役の任期は選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会の終結の時までとします。監査等委員会は、その決議をもって、監査等委員の中から、常勤の監査等委員を選定します。

(3) 運用の意思決定プロセス（2020年3月末現在）

1. 投資委員会にて、国内外の経済見通し、市況見通しおよび資産配分の基本方針を決定します。
2. 各運用部門は、投資委員会の決定に基づき、個別資産および資産配分戦略に係る具体的な運用方針を策定します。
3. 各運用部門のファンドマネージャーは、上記方針を受け、個別ファンドのガイドラインおよびそれぞれの運用方針に沿って、ポートフォリオを構築・管理します。
4. トレーディング部門は、社会的信用力、情報提供力、執行対応力において最適と判断し得る発注業者、発注方針などを決定します。その上で、トレーダーは、最良執行のプロセスに則り売買を執行します。
5. 運用状況の評価・分析および運用リスク管理、ならびに法令など遵守状況のモニタリングについては、運用部門から独立したリスク管理/コンプライアンス業務担当部門が担当し、これを運用部門にフィードバックすることにより、適切な運用体制を維持できるように努めています。

2【事業の内容及び営業の概況】

<更新後>

- ・「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託会社は、証券投資信託の設定を行なうとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用(投資運用業)を行なっています。また「金融商品取引法」に定める投資助言業務を行なっています。
- ・委託会社の運用する、2020年3月末現在の投資信託などは次の通りです。

種 類	ファンド本数	純資産額 (単位：億円)
投資信託総合計	834	181,300
株式投資信託	784	151,780
単位型	269	10,559
追加型	515	141,221
公社債投資信託	50	29,520
単位型	37	1,017
追加型	13	28,503

3【委託会社等の経理状況】

<更新後>

1. 当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号、以下「財務諸表等規則」という。)並びに同規則第2条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」(平成19年8月6日内閣府令第52号)に基づいて作成しております。
また、当社の中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和52年大蔵省令第38号)並びに同規則第38条及び第57条に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」(平成19年内閣府令第52号)に基づいて作成しております。
2. 当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第60期事業年度(2018年4月1日から2019年3月31日まで)の財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により監査を受けております。
また、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第61期中間会計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)の中間財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により中間監査を受けております。

(1)【貸借対照表】

(単位：百万円)

	第59期 (2018年3月31日)		第60期 (2019年3月31日)	
資産の部				
流動資産				
現金・預金	3	14,024	3	20,680
有価証券		19		1
前払費用		551		495
未収入金		73		38
未収委託者報酬		15,873		16,867
未収収益	3	3,174	3	618
関係会社短期貸付金		1,128		2,408
立替金		2,776		791
その他	2,3	4,179	2	869
流動資産合計		41,800		42,769
固定資産				

有形固定資産				
建物	1	68	1	136
器具備品	1	122	1	137
有形固定資産合計		191		274
無形固定資産				
ソフトウェア		99		107
無形固定資産合計		99		107
投資その他の資産				
投資有価証券		14,103		16,755
関係会社株式		25,769		25,769
長期差入保証金		490		447
長期前払費用		0		-
繰延税金資産		1,504		1,913
投資その他の資産合計		41,868		44,886
固定資産合計		42,159		45,268
資産合計		83,959		88,038

(単位：百万円)

		第59期 (2018年3月31日)		第60期 (2019年3月31日)
負債の部				
流動負債				
預り金	3	3,804		354
未払金		5,874		6,112
未払収益分配金		7		7
未払償還金		91		71
未払手数料	3	5,124	3	5,299
その他未払金		651		734
未払費用	3	4,634	3	3,897
未払法人税等		2,185		2,382
未払消費税等	4	788	4	621
賞与引当金		2,286		2,680
役員賞与引当金		198		210
その他		41	3	172
流動負債合計		19,813		16,431
固定負債				
退職給付引当金		1,316		1,405
その他		318		629
固定負債合計		1,634		2,035
負債合計		21,448		18,466
純資産の部				
株主資本				
資本金		17,363		17,363
資本剰余金				
資本準備金		5,220		5,220
資本剰余金合計		5,220		5,220
利益剰余金				

その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	39,959	47,142
利益剰余金合計	39,959	47,142
自己株式	786	833
株主資本合計	61,756	68,891
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	408	493
繰延ヘッジ損益	346	185
評価・換算差額等合計	754	679
純資産合計	62,511	69,571
負債純資産合計	83,959	88,038

(2) 【損益計算書】

	(単位：百万円)	
	第59期 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	第60期 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
営業収益		
委託者報酬	70,609	77,264
その他営業収益	5,398	3,063
営業収益合計	76,008	80,328
営業費用		
支払手数料	30,448	32,834
広告宣伝費	973	960
公告費	2	2
調査費	18,132	18,251
調査費	862	890
委託調査費	17,241	17,333
図書費	28	27
委託計算費	520	541
営業雑経費	740	794
通信費	173	128
印刷費	348	334
協会費	68	69
諸会費	24	19
その他	125	243
営業費用計	50,817	53,385
一般管理費		
給料	9,096	9,783
役員報酬	507	241
役員賞与引当金繰入額	198	210
給料・手当	6,083	6,589
賞与	20	61
賞与引当金繰入額	2,286	2,680
交際費	99	92
寄付金	16	13
旅費交通費	455	476
租税公課	424	428
不動産賃借料	890	888
退職給付費用	355	378
退職金	24	52

固定資産減価償却費	152	108
福利費	974	1,071
諸経費	3,175	3,106
一般管理費計	15,664	16,401
営業利益	9,526	10,540

(単位：百万円)

	第59期 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)		第60期 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	
営業外収益				
受取利息		26		37
受取配当金	1	1,120	1	1,865
有価証券償還益		1		1
デリバティブ収益		-	1	142
時効成立分配金・償還金		1		21
為替差益		79		58
その他		41		48
営業外収益合計		1,272		2,176
営業外費用				
支払利息	1	223	1	286
デリバティブ費用	1	295		-
時効成立後支払分配金・償還金		0		78
長期差入保証金償却額		212		-
その他		34		24
営業外費用合計		767		388
経常利益		10,030		12,328
特別利益				
投資有価証券売却益		199		218
特別利益合計		199		218
特別損失				
投資有価証券売却損		133		176
固定資産処分損		7		0
役員退職一時金		117		180
損害賠償損失		81		-
特別損失合計		340		357
税引前当期純利益		9,890		12,189
法人税、住民税及び事業税		3,217		3,741
法人税等調整額		307		375
法人税等合計		2,910		3,366
当期純利益		6,979		8,823

(3) 【株主資本等変動計算書】

第59期(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計
		資本剰余金	資本剰余金	その他利益剰余金	利益剰余金		

		資本準備金	合計	繰越利益 剰余金	合計		
当期首残高	17,363	5,220	5,220	34,015	34,015	672	55,926
当期変動額							
剰余金の配当				1,036	1,036		1,036
当期純利益				6,979	6,979		6,979
自己株式の取得						113	113
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）							
当期変動額合計	-	-	-	5,943	5,943	113	5,830
当期末残高	17,363	5,220	5,220	39,959	39,959	786	61,756

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・ 換算差額等 合計	
当期首残高	282	266	548	56,475
当期変動額				
剰余金の配当				1,036
当期純利益				6,979
自己株式の取得				113
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	125	80	206	206
当期変動額合計	125	80	206	6,036
当期末残高	408	346	754	62,511

第60期（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本 合計
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計		
当期首残高	17,363	5,220	5,220	39,959	39,959	786	61,756
当期変動額							
剰余金の配当				1,640	1,640		1,640
当期純利益				8,823	8,823		8,823
自己株式の取得						47	47
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）							
当期変動額合計	-	-	-	7,182	7,182	47	7,135
当期末残高	17,363	5,220	5,220	47,142	47,142	833	68,891

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・ 換算差額 等合計	
当期首残高	282	266	548	56,475
当期変動額				
剰余金の配当				1,036
当期純利益				6,979
自己株式の取得				113
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	125	80	206	206
当期変動額合計	125	80	206	6,036
当期末残高	408	346	754	62,511

当期首残高	408	346	754	62,511
当期変動額				
剰余金の配当				1,640
当期純利益				8,823
自己株式の取得				47
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	85	160	75	75
当期変動額合計	85	160	75	7,060
当期末残高	493	185	679	69,571

[注記事項]

（重要な会計方針）

項目	第60期 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1 資産の評価基準及び評価方法	<p>(1) 有価証券 子会社株式及び関連会社株式 総平均法による原価法 その他有価証券 時価のあるもの 決算末日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は、総平均法により算定) 時価のないもの 総平均法による原価法</p> <p>(2) デリバティブ 時価法</p>
2 固定資産の減価償却の方法	<p>(1) 有形固定資産 定率法により償却しております。ただし、2016年4月1日以後に取得した建物附属設備については、定額法を採用しております。 なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。 建物 3年～15年 器具備品 4年～20年</p> <p>(2) 無形固定資産 定額法により償却しております。ただし、ソフトウェア(自社利用分)については、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。</p>
3 引当金の計上基準	<p>(1) 賞与引当金 従業員に支給する賞与の支払に充てるため、支払見込額に基づき、当事業年度の負担額を計上しております。</p> <p>(2) 役員賞与引当金 役員に支給する賞与の支払に充てるため、支払見込額に基づき、当事業年度の負担額を計上しております。</p> <p>(3) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、計上しております。 退職給付見込額の期間帰属方法 退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。</p>

<p>4 ヘッジ会計の方法</p> <p>5 その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項</p>	<p>数理計算上の差異の費用処理方法</p> <p>数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理しております。</p> <p>(1) ヘッジ会計の方法 繰延ヘッジ処理によっております。</p> <p>(2) ヘッジ手段とヘッジ対象 ヘッジ手段は為替予約、ヘッジ対象は投資有価証券であります。</p> <p>(3) ヘッジ方針 ヘッジ取引規程等に基づき、ヘッジ対象に係る為替変動リスクをヘッジしております。</p> <p>(4) ヘッジ有効性評価の方法 ヘッジ開始時から有効性判定時点までの期間における相場変動によるヘッジ手段及びヘッジ対象資産に係る損益の累計を比較し有効性を評価しております。</p> <p>消費税等の会計処理 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっており、控除対象外消費税等は、当事業年度の費用として処理しております。</p>
--	--

(未適用の会計基準等)

- ・ 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 平成30年3月30日）
- ・ 「収益認識に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第30号 平成30年3月30日）

(1) 概要

収益認識に関する包括的な会計基準であります。収益は、次の5つのステップを適用し認識されます。

- ステップ1：顧客との契約を識別する。
 ステップ2：契約における履行義務を識別する。
 ステップ3：取引価格を算定する。
 ステップ4：契約における履行義務に取引価格を配分する。
 ステップ5：履行義務を充足した時に又は充足するにつれて収益を認識する。

(2) 適用予定日

2022年3月期の期首より適用予定であります。

(3) 当該会計基準等の適用による影響

影響額は、当財務諸表作成時において評価中であります。

(表示方法の変更)

<p>第60期 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)</p>
<p>(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用に伴う変更) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）を当事業年度の期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。 この結果、前事業年度の貸借対照表において、「流動資産」の「繰延税金資産」1,014百万円は、「投資その他の資産」の「繰延税金資産」1,504百万円に含めて表示しております。</p>

(貸借対照表関係)

<p>第59期 (2018年3月31日)</p>	<p>第60期 (2019年3月31日)</p>
------------------------------	------------------------------

<p>1 有形固定資産の減価償却累計額</p> <p>建物 1,260百万円</p> <p>器具備品 612百万円</p> <p>2 信託資産</p> <p>流動資産のその他のうち3,030百万円は、「直販顧客分別金信託契約」により、野村信託銀行株式会社に信託しております。</p> <p>3 関係会社に対する資産及び負債は次のとおりであります。</p> <p>(流動資産)</p> <p>現金・預金 3,189百万円</p> <p>未収収益 592百万円</p> <p>その他 345百万円</p> <p>(流動負債)</p> <p>預り金 419百万円</p> <p>未払手数料 376百万円</p> <p>未払費用 677百万円</p> <p>4 消費税等の取扱い</p> <p>仮払消費税等及び仮受消費税等は相殺のうえ、「未払消費税等」として表示しております。</p> <p>5 保証債務</p> <p>当社は、Nikko Asset Management Europe Ltd がロンドン ウォール リミテッド パートナーシップに支払うオフィス賃借料等の債務553百万円に対して保証を行っております。また当社は、Nikko Asset Management Americas, Inc. がマディソンタワー アソシエイツ リミテッド パートナーシップに支払うオフィス賃借料等の債務103百万円に対して保証を行っております。</p>	<p>1 有形固定資産の減価償却累計額</p> <p>建物 1,281百万円</p> <p>器具備品 655百万円</p> <p>2 信託資産</p> <p>流動資産のその他のうち2百万円は、「直販顧客分別金信託契約」により、野村信託銀行株式会社に信託しております。</p> <p>3 関係会社に対する資産及び負債は次のとおりであります。</p> <p>(流動資産)</p> <p>現金・預金 1,347百万円</p> <p>未収収益 127百万円</p> <p>(流動負債)</p> <p>未払手数料 350百万円</p> <p>未払費用 767百万円</p> <p>その他 162百万円</p> <p>4 消費税等の取扱い</p> <p>仮払消費税等及び仮受消費税等は相殺のうえ、「未払消費税等」として表示しております。</p> <p>5 保証債務</p> <p>当社は、Nikko Asset Management Europe Ltd がロンドン ウォール リミテッド パートナーシップに支払うオフィス賃借料等の債務468百万円に対して保証を行っております。</p>
--	---

(損益計算書関係)

第59期 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	第60期 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
<p>1 各科目に含まれている関係会社に対するものは、次のとおりであります。</p> <p>受取配当金 979百万円</p> <p>デリバティブ収益 407百万円</p> <p>支払利息 213百万円</p>	<p>1 各科目に含まれている関係会社に対するものは、次のとおりであります。</p> <p>受取配当金 1,831百万円</p> <p>デリバティブ収益 54百万円</p> <p>支払利息 75百万円</p>

(株主資本等変動計算書関係)

第59期(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

1 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	当事業年度増加	当事業年度減少	当事業年度末
普通株式(株)	197,012,500	-	-	197,012,500

2 自己株式の種類及び株式数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	当事業年度増加	当事業年度減少	当事業年度末
普通株式(株)	1,119,100	182,600	-	1,301,700

3 新株予約権等に関する事項

新株予約権の内訳	新株予約権の 目的となる 株式の種類	新株予約権の目的となる株式の数(株)				当事業年 度末残高 (百万円)
		当事業年度 期首	当事業年度 増加	当事業年度 減少	当事業 年度末	
2009年度 ストックオプション(1)	普通株式	1,689,600	-	194,700	1,494,900	-
2009年度 ストックオプション(2)	普通株式	174,900	-	66,000	108,900	-
2011年度 ストックオプション(1)	普通株式	2,890,800	-	204,600	2,686,200	-
2016年度 ストックオプション(1)	普通株式	4,404,000	-	786,000	3,618,000	-
2016年度 ストックオプション(2)	普通株式	-	4,409,000	532,000	3,877,000	-
合計		9,159,300	4,409,000	1,783,300	11,785,000	-

- (注) 1 2016年度ストックオプション(2)の増加は、新株予約権の発行によるものであります。
2 当事業年度の減少は、新株予約権の失効等によるものであります。
3 2009年度ストックオプション(1)1,494,900株、2009年度ストックオプション(2)108,900株及び2011年度ス
tockオプション(1)2,686,200株は、当事業年度末現在、権利行使期間の初日が到来しておりますが、他の
条件が満たされていないため新株予約権を行使することができません。また、2016年度ストックオプション
(1)及び2016年度ストックオプション(2)は、権利行使期間の初日が到来しておりません。

4 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2017年5月25日 取締役会	普通株式	1,036	5.29	2017年3月31日	2017年6月22日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2018年5月31日 取締役会	普通株式	利益剰余金	1,640	8.38	2018年3月31日	2018年6月23日

第60期（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

1 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	当事業年度増加	当事業年度減少	当事業年度末
普通株式(株)	197,012,500	-	-	197,012,500

2 自己株式の種類及び株式数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	当事業年度増加	当事業年度減少	当事業年度末
普通株式(株)	1,301,700	64,000	-	1,365,700

3 新株予約権等に関する事項

新株予約権の内訳	新株予約権の 目的となる 株式の種類	新株予約権の目的となる株式の数(株)				当事業年 度末残高 (百万円)
		当事業年度 期首	当事業年度 増加	当事業年度 減少	当事業 年度末	
2009年度 ストックオプション(1)	普通株式	1,494,900	-	323,400	1,171,500	-
2009年度 ストックオプション(2)	普通株式	108,900	-	33,000	75,900	-
2011年度 ストックオプション(1)	普通株式	2,686,200	-	630,300	2,055,900	-

2016年度 ストックオプション(1)	普通株式	3,618,000	-	-	3,618,000	-
2016年度 ストックオプション(2)	普通株式	3,877,000	-	66,000	3,811,000	-
2017年度 ストックオプション(1)	普通株式	-	4,422,000	66,000	4,356,000	-
合計		11,785,000	4,422,000	1,118,700	15,088,300	-

- (注) 1 2017年度ストックオプション(1)の増加は、新株予約権の発行によるものであります。
2 当事業年度の減少は、新株予約権の失効等によるものであります。
3 2009年度ストックオプション(1)1,171,500株、2009年度ストックオプション(2)75,900株、2011年度ストックオプション(1)2,055,900株及び2016年度ストックオプション(1)1,206,000株は、当事業年度末現在、権利行使期間の初日が到来しておりますが、他の条件が満たされていないため新株予約権を行使することができません。また、2016年度ストックオプション(1)2,412,000株、2016年度ストックオプション(2)及び2017年度ストックオプション(1)は、権利行使期間の初日が到来しておりません。

4 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2018年5月31日 取締役会	普通株式	1,640	8.38	2018年3月31日	2018年6月23日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2019年5月28日 取締役会	普通株式	利益剰余金	3,212	16.42	2019年3月31日	2019年6月24日

(リース取引関係)

第59期 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)		第60期 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	
オペレーティング・リース取引 解約不能のものに係る未経過リース料		オペレーティング・リース取引 解約不能のものに係る未経過リース料	
1年内	866百万円	1年内	853百万円
1年超	923百万円	1年超	6,704百万円
合計	1,790百万円	合計	7,558百万円

(金融商品関係)

第59期(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

1 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は、投資信託の運用を業として行っており、自らが運用する投資信託の商品性維持を目的として、当該投資信託を有価証券及び投資有価証券として保有しております。当社が行っているデリバティブ取引については、保有する投資信託に係る将来の為替及び価格の変動によるリスクの軽減を目的としているため、有価証券及び投資有価証券保有残高の範囲内で行うこととし、投機目的のためのデリバティブ取引は行わない方針であります。

また、資金運用については短期的な預金等に限定しております。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

預金に関しては10数行に分散して預入れしておりますが、これら金融機関の破綻及び債務不履行等による信用リスクに晒されております。営業債権である未収委託者報酬及び未収収益に関しては、それらの源泉である預り純資産を数行の信託銀行に分散して委託しておりますが、信託銀行はその受託資産を自己勘定と分別して管理しているため、仮に信託銀行が破綻又は債務不履行等となった場合でも、これら営業債

権が信用リスクに晒されることは無いと考えております。また、グローバルに事業を展開していることから生じている外貨建ての営業債権は、為替の変動リスクに晒されます。有価証券及び投資有価証券は、主に自己で設定した投資信託へのシドマネの投入によるものであります。これら投資信託の投資対象は株式、公社債等のため、価格変動リスクや信用リスク、流動性リスク、為替変動リスクに晒されておりますが、それらの一部については為替予約、株価指数先物等のデリバティブ取引により、リスクをヘッジしております。なお、為替変動リスクに係るヘッジについてはヘッジ会計(繰延ヘッジ)を適用しております。デリバティブ取引は、取引相手先として高格付を有する金融機関に限定しております。なお、ヘッジ会計に関するヘッジ手段とヘッジ対象、ヘッジ方針、ヘッジ有効性評価の方法等については、前述の「重要な会計方針「4 ヘッジ会計の方法」」をご参照下さい。

営業債務である未払金(未払手数料)、未払費用に関しては、すべてが1年以内の支払期日であります。未払金(未払手数料)については、債権(未収委託者報酬)を資金回収した後に、販売会社へ当該債務を支払うフローとなっているため、流動性リスクに晒されることは無いと考えております。また未払費用のうち運用再委託先への顧問料支払に係るものについてもほとんどのものが、未払金同様のフローのため、流動性リスクに晒されることは無いと考えております。それ以外の営業費用及び一般管理費に係る未払費用に関しては、流動性リスクに晒されており、一部は外貨建て債務があるため、為替の変動リスクにも晒されております。

外貨建ての関係会社短期借入金に関しましては、為替変動リスクに晒されておりますが、為替予約によりリスクをヘッジしております。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

信用リスク(取引先の契約不履行等に係るリスク)の管理

当社は、預金の預入れやデリバティブ取引を行う金融機関の選定に関しては、相手方の財政状態及び経営成績、又は必要に応じて格付等を考慮した上で決定しております。また既に取引が行われている相手方に関しても、定期的に継続したモニタリングを行うことで、相手方の財務状況の悪化等による信用リスクを早期に把握することで、リスクの軽減を図っております。

市場リスク(為替や価格等の変動リスク)の管理

当社は、原則、有価証券及び投資有価証券以外の為替変動や価格変動に係るリスクに対して、ヘッジ取引を行っておりません。外貨建ての営業債権債務について、月次ベースで為替変動リスクを測定し、モニタリングを実施しております。また、有価証券及び投資有価証券に関しては、一部について、為替変動リスクや価格変動リスクを回避する目的でデリバティブ取引を行っております。毎月末にそれぞれの時価を算出し、評価損益(ヘッジ対象の有価証券及び投資有価証券は、ヘッジ損益考慮後の評価損益)を把握しております。また、市場の変動等に基づき、今後の一定期間において特定の確率で、金融商品に生じ得る損失額の推計値を把握するため、バリュアット・リスクを用いた市場リスク管理を週次ベースで実施しております。さらに、外貨建ての関係会社短期借入金に関しては、為替変動リスクを回避する目的でデリバティブ取引を行っております。

流動性リスク(支払期日に支払いを実行できなくなるリスク)の管理

当社は、日々資金残高管理を行っております。また、適時に資金繰予定表を作成・更新するとともに、手許流動性(最低限必要な運転資金)を状況に応じて見直し・維持すること等により、流動性リスクを管理しております。

2 金融商品の時価等に関する事項

2018年3月31日(当事業年度の決算日)における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません。

(単位:百万円)

	貸借対照表 計上額(1)	時価(1)	差額
(1) 現金・預金	14,024	14,024	-
(2) 未収委託者報酬	15,873	15,873	-
(3) 未収収益	3,174	3,174	-
(4) 関係会社短期貸付金	1,128	1,128	-

(5) 有価証券及び投資有価証券 其他有価証券	14,106	14,106	-
(6) 未払金	(5,874)	(5,874)	-
(7) 未払費用	(4,634)	(4,634)	-
(8) デリバティブ取引(2) ヘッジ会計が適用されていないもの	(14)	(14)	-
ヘッジ会計が適用されているもの デリバティブ取引計	336 321	336 321	- -

(1) 負債に計上されているものについては、()で示しております。

(2) デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しております。

(注) 1 金融商品の時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項

(1) 現金・預金、(2) 未収委託者報酬、(3) 未収収益並びに(4) 関係会社短期貸付金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(5) 有価証券及び投資有価証券

投資信託は基準価額によっております。

(6) 未払金及び(7) 未払費用

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(8) デリバティブ取引

(デリバティブ取引関係)注記を参照ください。なお、ヘッジ会計が適用されていないもののうち8百万円は貸借対照表上流動資産のその他に含まれ、23百万円は流動負債のその他に含まれております。また、ヘッジ会計が適用されているものは貸借対照表上流動資産のその他に含まれております。

2 非上場株式等（貸借対照表計上額16百万円）は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ること等ができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(4)有価証券及び投資有価証券 其他有価証券」には含めておりません。

3 子会社株式（貸借対照表計上額22,876百万円）及び関連会社株式（貸借対照表計上額2,892百万円）は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ること等ができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、上記の表には含めておりません。

4 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

(単位：百万円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金・預金	14,024	-	-	-
未収委託者報酬	15,873	-	-	-
未収収益	3,174	-	-	-
有価証券及び投資有価証券 投資信託	19	616	1,743	545
合計	33,090	616	1,743	545

第60期(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は、投資信託の運用を業として行っており、自社が運用する投資信託の商品性維持を目的として、当該投資信託を有価証券及び投資有価証券として保有しております。当社が行っているデリバティブ取引については、保有する投資信託に係る将来の為替及び価格の変動によるリスクの軽減を目的としているため、有価証券及び投資有価証券保有残高の範囲内で行うこととし、投機目的のためのデリバティブ取引は行わない方針であります。

また、資金運用については短期的な預金等に限定しております。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

預金に関しては10数行に分散して預入れしておりますが、これら金融機関の破綻及び債務不履行等による信用リスクに晒されております。営業債権である未収委託者報酬及び未収収益に関しては、それらの源泉である預り純資産を数行の信託銀行に分散して委託しておりますが、信託銀行はその受託資産を自己勘定と分別して管理しているため、仮に信託銀行が破綻又は債務不履行等となった場合でも、これら営業債権が信用リスクに晒されることは無いと考えております。また、グローバルに事業を展開していることから生じている外貨建ての営業債権は、為替の変動リスクに晒されます。有価証券及び投資有価証券は、主に自己で設定した投資信託へのシドマネの投入によるものであります。これら投資信託の投資対象は株式、公社債等のため、価格変動リスクや信用リスク、流動性リスク、為替変動リスクに晒されておりますが、それらの一部については為替予約、株価指数先物等のデリバティブ取引により、リスクをヘッジしております。なお、為替変動リスクに係るヘッジについてはヘッジ会計（繰延ヘッジ）を適用しております。デリバティブ取引は、取引相手先として高格付を有する金融機関に限定しております。なお、ヘッジ会計に関するヘッジ手段とヘッジ対象、ヘッジ方針、ヘッジ有効性評価の方法等については、前述の「重要な会計方針「4 ヘッジ会計の方法」」をご参照下さい。

営業債務である未払金（未払手数料）、未払費用に関しては、すべてが1年以内の支払期日でありませぬ。未払金（未払手数料）については、債権（未収委託者報酬）を資金回収した後に、販売会社へ当該債務を支払うフローとなっているため、流動性リスクに晒されることは無いと考えております。また未払費用のうち運用再委託先への顧問料支払に係るものについてもほとんどのものが、未払金同様のフローのため、流動性リスクに晒されることは無いと考えております。それ以外の営業費用及び一般管理費に係る未払費用に関しては、流動性リスクに晒されており、一部は外貨建て債務があるため、為替の変動リスクにも晒されております。

上記以外の外貨建ての債権及び債務に関しては、為替変動リスクに晒されておりますが、一部為替予約によりリスクをヘッジしております。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

信用リスク（取引先の契約不履行等に係るリスク）の管理

当社は、預金の預入れやデリバティブ取引を行う金融機関の選定に関しては、相手方の財政状態及び経営成績、又は必要に応じて格付等を考慮した上で決定しております。また既に取引が行われている相手方に関しても、定期的に継続したモニタリングを行うことで、相手方の財務状況の悪化等による信用リスクを早期に把握することで、リスクの軽減を図っております。

市場リスク（為替や価格等の変動リスク）の管理

当社は、原則、有価証券及び投資有価証券以外の為替変動や価格変動に係るリスクに対して、ヘッジ取引を行っておりませぬ。外貨建ての営業債権債務について、月次ベースで為替変動リスクを測定し、モニタリングを実施しております。また、有価証券及び投資有価証券に関しては、一部について、為替変動リスクや価格変動リスクを回避する目的でデリバティブ取引を行っております。毎月末にそれぞれの時価を算出し、評価損益（ヘッジ対象の有価証券及び投資有価証券は、ヘッジ損益考慮後の評価損益）を把握しております。また、市場の変動等に基づき、今後の一定期間において特定の確率で、金融商品に生じ得る損失額の推計値を把握するため、バリュ・アット・リスクを用いた市場リスク管理を週次ベースで実施しております。さらに、外貨建ての貸付金及び借入金に関しては、為替変動リスクを回避する目的でデリバティブ取引を行っております。

流動性リスク（支払期日に支払いを実行できなくなるリスク）の管理

当社は、日々資金残高管理を行っております。また、適時に資金繰予定表を作成・更新するとともに、手許流動性（最低限必要な運転資金）を状況に応じて見直し・維持すること等により、流動性リスクを管理しております。

2 金融商品の時価等に関する事項

2019年3月31日（当事業年度の決算日）における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりませぬ。

（単位：百万円）

	貸借対照表 計上額(1)	時価(1)	差額
(1) 現金・預金	20,680	20,680	-
(2) 未収委託者報酬	16,867	16,867	-
(3) 未収収益	618	618	-
(4) 関係会社短期貸付金	2,408	2,408	-
(5) 有価証券及び投資有価証券 其他有価証券	16,740	16,740	-
(6) 未払金	(6,112)	(6,112)	-
(7) 未払費用	(3,897)	(3,897)	-
(8) デリバティブ取引(2) ヘッジ会計が適用されていないもの	(31)	(31)	-
ヘッジ会計が適用されているもの	(127)	(127)	-
デリバティブ取引計	(158)	(158)	-

(1)負債に計上されているものについては、()で示しております。

(2)デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しております。

(注) 1 金融商品の時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項

(1) 現金・預金、(2) 未収委託者報酬、(3) 未収収益並びに(4) 関係会社短期貸付金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(5) 有価証券及び投資有価証券

投資信託は基準価額によっております。

(6) 未払金及び(7) 未払費用

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(8) デリバティブ取引

(デリバティブ取引関係)注記を参照ください。なお、ヘッジ会計が適用されていないもののうち3百万円は貸借対照表上流動資産のその他に含まれ、35百万円は流動負債のその他に含まれております。また、ヘッジ会計が適用されているもののうち0百万円は貸借対照表上流動資産のその他に含まれ、127百万円は流動負債のその他に含まれております。

2 非上場株式等(貸借対照表計上額16百万円)は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ること等ができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(5)有価証券及び投資有価証券 其他有価証券」には含めておりません。

3 子会社株式(貸借対照表計上額22,876百万円)及び関連会社株式(貸借対照表計上額2,892百万円)は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ること等ができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、上記の表には含めておりません。

4 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

(単位：百万円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金・預金	20,680	-	-	-
未収委託者報酬	16,867	-	-	-
未収収益	618	-	-	-
有価証券及び投資有価証券 投資信託	1	163	6,929	1,363
合計	38,167	163	6,929	1,363

(有価証券関係)

第59期(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

1 子会社株式及び関連会社株式

(単位：百万円)

	貸借対照表計上額
子会社株式	22,876
関連会社株式	2,892

(注) 子会社株式及び関連会社株式は市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ること等ができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、時価を記載しておりません。

2 その他有価証券

(単位：百万円)

	種類	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額 が取得原価を超えるもの	投資信託	8,544	7,535	1,008
	小計	8,544	7,535	1,008
貸借対照表計上額 が取得原価を超えないもの	投資信託	5,561	5,982	420
	小計	5,561	5,982	420
合計		14,106	13,518	588

(注) 1 減損処理にあたっては、期末における時価が取得原価に比べ50%以上下落した場合にはすべて減損処理を行い、30%～50%程度下落した場合には、当該金額の重要性、回復可能性等を考慮して必要と認められた額について減損処理を行っております。当事業年度については、該当ございません。

2 非上場株式等（貸借対照表計上額 16百万円）については、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ること等ができず、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

3 当事業年度中に売却したその他有価証券

(単位：百万円)

種類	売却額	売却益の合計額	売却損の合計額
投資信託	2,792	199	133
合計	2,792	199	133

第60期(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1 子会社株式及び関連会社株式

(単位：百万円)

	貸借対照表計上額
子会社株式	22,876
関連会社株式	2,892

(注) 子会社株式及び関連会社株式は市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ること等ができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、時価を記載しておりません。

2 その他有価証券

(単位：百万円)

	種類	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額	投資信託	9,340	8,440	900

が取得原価を超えるもの	小計	9,340	8,440	900
貸借対照表計上額 が取得原価を超えないもの	投資信託	7,400	7,589	188
	小計	7,400	7,589	188
合計		16,740	16,029	711

- (注) 1 減損処理にあたっては、期末における時価が取得原価に比べ50%以上下落した場合にはすべて減損処理を行い、30%～50%程度下落した場合には、当該金額の重要性、回復可能性等を考慮して必要と認められた額について減損処理を行っております。当事業年度については、該当ございません。
- 2 非上場株式等(貸借対照表計上額 16百万円)については、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ること等ができず、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

3 当事業年度中に売却したその他有価証券

(単位:百万円)

種類	売却額	売却益の合計額	売却損の合計額
投資信託	4,189	218	176
合計	4,189	218	176

(デリバティブ取引関係)

第59期(2018年3月31日)

1 ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引 株式関連

種類		契約額等 (百万円)	契約額等 のうち1年超 (百万円)	時価 (百万円)	評価損益 (百万円)
市場取引	株価指数先物取引				
	売建	2,422	-	14	14
	買建	-	-	-	-
合計		2,422	-	14	14

- (注) 1 上記取引については時価評価を行い、評価損益は損益計算書に計上しております。
- 2 時価の算定方法
金融商品取引所が定める清算指数によっております。

2 ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引 通貨関連

ヘッジ会計の方法	デリバティブ取引の種類等	主なヘッジ対象	契約額等 (百万円)	契約額等 のうち1年超 (百万円)	時価 (百万円)
原則的処理 方法	為替予約取引	投資有価証券			
	売建				
	米ドル		4,447	-	196
	豪ドル		109	-	10
	シンガポール ドル		1,783	-	65
	香港ドル		541	-	25
	人民元		2,156	-	32
	ユーロ		154	-	6
合計			9,192	-	336

(注) 1 時価の算定方法

取引先金融機関から提示された価格等に基づき算定しております。

第60期(2019年3月31日)

1 ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

(1) 株式関連

種類		契約額等 (百万円)	契約額等 のうち1年超 (百万円)	時価 (百万円)	評価損益 (百万円)
市場取引	株価指数先物取引				
	売建	2,407	-	3	3
	買建	-	-	-	-
合計		2,407	-	3	3

(注) 1 上記取引については時価評価を行い、評価損益は損益計算書に計上しております。

2 時価の算定方法

金融商品取引所が定める清算指数によっております。

(2) 通貨関連

種類		契約額等 (百万円)	契約額等 のうち1年超 (百万円)	時価 (百万円)	評価損益 (百万円)
市場取引以外 の取引	為替予約取引				
	売建 米ドル	1,792	-	35	35
合計		1,792	-	35	35

(注) 1 時価の算定方法

取引先金融機関から提示された価格等に基づき算定しております。

2 ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引

通貨関連

ヘッジ会計の 方法	デリバティブ取引の 種類等	主なヘッジ対象	契約額等 (百万円)	契約額等 のうち1年超 (百万円)	時価 (百万円)
原則的処理 方法	為替予約取引	投資有価証券			
	売建				
	米ドル		2,251	-	42
	豪ドル		63	-	0
	シンガポール ドル		975	-	18
	香港ドル		518	-	8
	人民元		2,149	-	58
	ユーロ		81	-	0
合計			6,040	-	127

(注) 1 時価の算定方法

取引先金融機関から提示された価格等に基づき算定しております。

(持分法損益等)

第59期 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	第60期 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

関連会社に持分法を適用した場合の投資損益等 (単位：百万円)	関連会社に持分法を適用した場合の投資損益等 (単位：百万円)
(1) 関連会社に対する投資の金額 3,008	(1) 関連会社に対する投資の金額 3,010
(2) 持分法を適用した場合の投資の金額 10,409	(2) 持分法を適用した場合の投資の金額 10,668
(3) 持分法を適用した場合の投資利益の金額 1,827	(3) 持分法を適用した場合の投資利益の金額 1,704

(退職給付関係)

第59期(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

1 採用している退職給付制度の概要

当社は、確定拠出型企業年金制度及びキャッシュバランスプラン型退職金制度を設けております。

2 確定給付制度

(1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

	(百万円)
退職給付債務の期首残高	1,190
勤務費用	130
利息費用	2
数理計算上の差異の発生額	66
退職給付の支払額	76
退職給付債務の期末残高	1,313

(2) 退職給付債務の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表

退職給付債務	1,313
未積立退職給付債務	1,313
未認識数理計算上の差異	2
貸借対照表に計上された負債の額	1,316
退職給付引当金	1,316
貸借対照表に計上された負債の額	1,316

(3) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

勤務費用	130
利息費用	2
数理計算上の差異の費用処理額	0
確定給付制度に係る退職給付費用	132

(4) 数理計算上の計算基礎に関する事項

当事業年度末における主要な数理計算上の計算基礎

割引率	0.2%
-----	------

3 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、222百万円でありました。

第60期(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1 採用している退職給付制度の概要

当社は、確定拠出型企業年金制度及びキャッシュバランスプラン型退職金制度を設けております。

2 確定給付制度

(1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

(百万円)

退職給付債務の期首残高	1,313
勤務費用	142
利息費用	2
数理計算上の差異の発生額	12
退職給付の支払額	59
退職給付債務の期末残高	1,411

(2) 退職給付債務の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表

退職給付債務	1,411
未積立退職給付債務	1,411
未認識数理計算上の差異	6
貸借対照表に計上された負債の額	1,405

退職給付引当金	1,405
貸借対照表に計上された負債の額	1,405

(3) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

勤務費用	142
利息費用	2
数理計算上の差異の費用処理額	3
確定給付制度に係る退職給付費用	148

(4) 数理計算上の計算基礎に関する事項

当事業年度末における主要な数理計算上の計算基礎

割引率 0.2%

3 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、230百万円でありました。

(ストックオプション等関係)

第59期(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

1 スtockオプション(新株予約権)の内容、規模及びその変動状況

(1) スtockオプション(新株予約権)の内容

	2009年度ストックオプション(1)	2009年度ストックオプション(2)
付与対象者の区分及び人数	当社及び関係会社の 取締役・従業員 271名	当社及び関係会社の 取締役・従業員 48名
株式の種類別のストックオプションの付与数 (注)	普通株式 19,724,100株	普通株式 1,702,800株
付与日	2010年2月8日	2010年8月20日
権利確定条件	2012年1月22日(以下「権利行使可能初日」といいます。)、当該権利行使可能初日から1年経過した日の翌日、及び当該権利行使可能初日から2年経過した日の翌日まで原則として従業員等の地位にあることを要し、それぞれ保有する新株予約権の2分の1、4分の1、4分の1ずつ権利確定する。ただし、本新株予約権の行使時において、当社が株式公開していることを要する。	同左

対象勤務期間	付与日から、権利行使可能初日から 2年を経過した日まで	同左
権利行使期間	2012年1月22日から 2020年1月21日まで	同左

	2011年度ストックオプション(1)	2016年度ストックオプション(1)
付与対象者の区分及び人数	当社及び関係会社の 取締役・従業員 186名	当社及び関係会社の 取締役・従業員 16名
株式の種類別のストックオプションの付与数（注）	普通株式 6,101,700株	普通株式 4,437,000株
付与日	2011年10月7日	2016年7月15日
権利確定条件	2013年10月7日（以下「権利行使可能初日」といいます。）、当該権利行使可能初日から1年経過した日の翌日、及び当該権利行使可能初日から2年経過した日の翌日まで原則として従業員等の地位にあることを要し、それぞれ保有する新株予約権の2分の1、4分の1、4分の1ずつ権利確定する。ただし、本新株予約権の行使時において、当社が株式公開していることを要する。	2018年7月15日（以下「権利行使可能初日」といいます。）、当該権利行使可能初日から1年経過した日の翌日、及び当該権利行使可能初日から2年経過した日の翌日まで原則として従業員等の地位にあることを要し、それぞれ保有する新株予約権の3分の1、3分の1、3分の1ずつ権利確定する。ただし、本新株予約権の行使時において、当社が株式公開していることを要する。
対象勤務期間	付与日から、権利行使可能初日から 2年を経過した日まで	付与日から、権利行使可能初日から 2年を経過した日まで
権利行使期間	2013年10月7日から 2021年10月6日まで	2018年7月15日から 2026年7月31日まで

	2016年度ストックオプション(2)
付与対象者の区分及び人数	当社及び関係会社の 取締役・従業員 31名
株式の種類別のストックオプションの付与数（注）	普通株式 4,409,000株
付与日	2017年4月27日
権利確定条件	2019年4月27日（以下「権利行使可能初日」といいます。）、当該権利行使可能初日から1年経過した日の翌日、及び当該権利行使可能初日から2年経過した日の翌日まで原則として従業員等の地位にあることを要し、それぞれ保有する新株予約権の3分の1、3分の1、3分の1ずつ権利確定する。ただし、本新株予約権の行使時において、当社が株式公開していることを要する。
対象勤務期間	付与日から、権利行使可能初日から 2年を経過した日まで
権利行使期間	2019年4月27日から 2027年4月30日まで

（注） 株式数に換算して記載しております。

(2) スtockオプション（新株予約権）の規模及びその変動状況 ストックオプション（新株予約権）の数

	2009年度ストックオプション(1)	2009年度ストックオプション(2)
付与日	2010年2月8日	2010年8月20日
権利確定前(株)		
期首	1,689,600	174,900
付与	0	0
失効	194,700	66,000
権利確定	0	0
権利未確定残	1,494,900	108,900
権利確定後(株)		
期首	-	-
権利確定	-	-
権利行使	-	-
失効	-	-
権利未行使残	-	-

	2011年度ストックオプション(1)	2016年度ストックオプション(1)
付与日	2011年10月7日	2016年7月15日
権利確定前(株)		
期首	2,890,800	4,404,000
付与	0	0
失効	204,600	786,000
権利確定	0	0
権利未確定残	2,686,200	3,618,000
権利確定後(株)		
期首	-	-
権利確定	-	-
権利行使	-	-
失効	-	-
権利未行使残	-	-

	2016年度ストックオプション(2)
付与日	2017年4月27日
権利確定前(株)	
期首	-
付与	4,409,000
失効	532,000
権利確定	0
権利未確定残	3,877,000
権利確定後(株)	
期首	-
権利確定	-
権利行使	-
失効	-
権利未行使残	-

(注) 株式数に換算して記載しております。

単価情報

	2009年度ストックオプション(1)	2009年度ストックオプション(2)
付与日	2010年2月8日	2010年8月20日
権利行使価格(円)	625	625
付与日における公正な評価単価(円) (注) 1	0	0

	2011年度ストックオプション(1)	2016年度ストックオプション(1)
付与日	2011年10月7日	2016年7月15日
権利行使価格(円)	737(注) 3	558
付与日における公正な評価単価(円) (注) 1	0	0

	2016年度ストックオプション(2)
付与日	2017年4月27日
権利行使価格(円)	553
付与日における公正な評価単価(円) (注) 1	0

- (注) 1 公正な評価単価に代え、本源的価値（取引事例比準法等による評価額と行使価格との差額）の見積りに
よっております。
- 2 スtockオプションの単位当たりの本源的価値による算定を行った場合の本源的価値の合計額
当事業年度末における本源的価値の合計額 1,149百万円
- 3 株式公開価格が737円（割当日後、株式の分割又は併合が行われたときは、当該金額は、当該株式の分
割又は併合の内容を適切に反映するように調整される。）を上回る金額に定められた場合には、株式公
開日において、権利行使価格は株式公開価格と同一の金額に調整されます。

第60期(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1 スtockオプション(新株予約権)の内容、規模及びその変動状況

(1) スtockオプション(新株予約権)の内容

	2009年度ストックオプション(1)	2009年度ストックオプション(2)
付与対象者の区分及び人数	当社及び関係会社の 取締役・従業員 271名	当社及び関係会社の 取締役・従業員 48名
株式の種類別のストックオプションの付与数 (注)	普通株式 19,724,100株	普通株式 1,702,800株
付与日	2010年2月8日	2010年8月20日
権利確定条件	2012年1月22日（以下「権利行使可能初日」といいます。）、「当該権利行使可能初日から1年経過した日の翌日、及び当該権利行使可能初日から2年経過した日の翌日まで原則として従業員等の地位にあることを要し、それぞれ保有する新株予約権の2分の1、4分の1、4分の1ずつ権利確定する。ただし、本新株予約権の行使時において、当社が株式公開していることを要する。	同左
対象勤務期間	付与日から、権利行使可能初日から2年を経過した日まで	同左

権利行使期間	2012年1月22日から 2020年1月21日まで	同左
--------	------------------------------	----

	2011年度ストックオプション(1)	2016年度ストックオプション(1)
付与対象者の区分及び人数	当社及び関係会社の 取締役・従業員 186名	当社及び関係会社の 取締役・従業員 16名
株式の種類別のストックオプションの付与数（注）	普通株式 6,101,700株	普通株式 4,437,000株
付与日	2011年10月7日	2016年7月15日
権利確定条件	2013年10月7日（以下「権利行使可能初日」といいます。）、当該権利行使可能初日から1年経過した日の翌日、及び当該権利行使可能初日から2年経過した日の翌日まで原則として従業員等の地位にあることを要し、それぞれ保有する新株予約権の2分の1、4分の1、4分の1ずつ権利確定する。ただし、本新株予約権の行使時において、当社が株式公開していることを要する。	2018年7月15日（以下「権利行使可能初日」といいます。）、当該権利行使可能初日から1年経過した日の翌日、及び当該権利行使可能初日から2年経過した日の翌日まで原則として従業員等の地位にあることを要し、それぞれ保有する新株予約権の3分の1、3分の1、3分の1ずつ権利確定する。ただし、本新株予約権の行使時において、当社が株式公開していることを要する。
対象勤務期間	付与日から、権利行使可能初日から2年を経過した日まで	付与日から、権利行使可能初日から2年を経過した日まで
権利行使期間	2013年10月7日から 2021年10月6日まで	2018年7月15日から 2026年7月31日まで

	2016年度ストックオプション(2)	2017年度ストックオプション(1)
付与対象者の区分及び人数	当社及び関係会社の 取締役・従業員 31名	当社及び関係会社の 取締役・従業員 36名
株式の種類別のストックオプションの付与数（注）	普通株式 4,409,000株	普通株式 4,422,000株
付与日	2017年4月27日	2018年4月27日
権利確定条件	2019年4月27日（以下「権利行使可能初日」といいます。）、当該権利行使可能初日から1年経過した日の翌日、及び当該権利行使可能初日から2年経過した日の翌日まで原則として従業員等の地位にあることを要し、それぞれ保有する新株予約権の3分の1、3分の1、3分の1ずつ権利確定する。ただし、本新株予約権の行使時において、当社が株式公開していることを要する。	2020年4月27日（以下「権利行使可能初日」といいます。）、当該権利行使可能初日から1年経過した日の翌日、及び当該権利行使可能初日から2年経過した日の翌日まで原則として従業員等の地位にあることを要し、それぞれ保有する新株予約権の3分の1、3分の1、3分の1ずつ権利確定する。ただし、本新株予約権の行使時において、当社が株式公開していることを要する。
対象勤務期間	付与日から、権利行使可能初日から2年を経過した日まで	付与日から、権利行使可能初日から2年を経過した日まで
権利行使期間	2019年4月27日から 2027年4月30日まで	2020年4月27日から 2028年4月30日まで

（注） 株式数に換算して記載しております。

(2) ストックオプション(新株予約権)の規模及びその変動状況
ストックオプション(新株予約権)の数

	2009年度ストックオプション(1)	2009年度ストックオプション(2)
付与日	2010年2月8日	2010年8月20日

権利確定前(株)		
期首	1,494,900	108,900
付与	0	0
失効	323,400	33,000
権利確定	0	0
権利未確定残	1,171,500	75,900
権利確定後(株)		
期首	-	-
権利確定	-	-
権利行使	-	-
失効	-	-
権利未行使残	-	-

	2011年度ストックオプション(1)	2016年度ストックオプション(1)
付与日	2011年10月7日	2016年7月15日
権利確定前(株)		
期首	2,686,200	3,618,000
付与	0	0
失効	630,300	0
権利確定	0	0
権利未確定残	2,055,900	3,618,000
権利確定後(株)		
期首	-	-
権利確定	-	-
権利行使	-	-
失効	-	-
権利未行使残	-	-

	2016年度ストックオプション(2)	2017年度ストックオプション(1)
付与日	2017年4月27日	2018年4月27日
権利確定前(株)		
期首	3,877,000	-
付与	0	4,422,000
失効	66,000	66,000
権利確定	0	0
権利未確定残	3,811,000	4,356,000
権利確定後(株)		
期首	-	-
権利確定	-	-
権利行使	-	-
失効	-	-
権利未行使残	-	-

(注) 株式数に換算して記載しております。

単価情報

	2009年度ストックオプション(1)	2009年度ストックオプション(2)
付与日	2010年2月8日	2010年8月20日
権利行使価格(円)	625	625
付与日における公正な評価単価(円) (注)1	0	0

	2011年度ストックオプション(1)	2016年度ストックオプション(1)
付与日	2011年10月7日	2016年7月15日
権利行使価格(円)	737(注)3	558
付与日における公正な評価単価(円) (注)1	0	0

	2016年度ストックオプション(2)	2017年度ストックオプション(1)
付与日	2017年4月27日	2018年4月27日
権利行使価格(円)	553	694
付与日における公正な評価単価(円) (注)1	0	0

- (注) 1 公正な評価単価に代え、本源的価値（取引事例比準法等による評価額と行使価格との差額）の見積りに
よっております。
- 2 スtockオプションの単位当たりの本源的価値による算定を行った場合の本源的価値の合計額
当事業年度末における本源的価値の合計額 2,128百万円
- 3 株式公開価格が737円（割当日後、株式の分割又は併合が行われたときは、当該金額は、当該株式の分割
又は併合の内容を適切に反映するように調整される。）を上回る金額に定められた場合には、株式公開
日において、権利行使価格は株式公開価格と同一の金額に調整されます。

(税効果会計関係)

第59期 (2018年3月31日)	第60期 (2019年3月31日)
1 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳 (単位：百万円)	1 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳 (単位：百万円)
繰延税金資産	繰延税金資産
賞与引当金 700	賞与引当金 820
投資有価証券評価損 96	投資有価証券評価損 96
関係会社株式評価損 1,430	関係会社株式評価損 1,430
退職給付引当金 402	退職給付引当金 430
固定資産減価償却費 111	固定資産減価償却費 103
その他 526	その他 761
繰延税金資産小計 3,268	繰延税金資産小計 3,643
評価性引当金 1,430	評価性引当金 1,430
繰延税金資産合計 1,838	繰延税金資産合計 2,212
繰延税金負債	繰延税金負債
その他有価証券評価差額金 180	その他有価証券評価差額金 217
繰延ヘッジ利益 152	繰延ヘッジ利益 81
繰延税金負債合計 333	繰延税金負債合計 299
繰延税金資産の純額 1,504	繰延税金資産の純額 1,913

<p>2 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳</p> <p>法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。</p>	<p>2 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">法定実効税率 (調整)</td> <td style="text-align: right;">30.6%</td> </tr> <tr> <td>交際費等永久に損金に算入されない 項目</td> <td style="text-align: right;">0.8%</td> </tr> <tr> <td>受取配当金等永久に益金に参入されない 項目</td> <td style="text-align: right;">4.4%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">0.6%</td> </tr> <tr> <td>税効果会計適用後の法人税等の負担率</td> <td style="text-align: right;">27.6%</td> </tr> </table>	法定実効税率 (調整)	30.6%	交際費等永久に損金に算入されない 項目	0.8%	受取配当金等永久に益金に参入されない 項目	4.4%	その他	0.6%	税効果会計適用後の法人税等の負担率	27.6%
法定実効税率 (調整)	30.6%										
交際費等永久に損金に算入されない 項目	0.8%										
受取配当金等永久に益金に参入されない 項目	4.4%										
その他	0.6%										
税効果会計適用後の法人税等の負担率	27.6%										

(関連当事者情報)

第59期(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

1 関連当事者との取引

(1) 財務諸表提出会社と関連当事者の取引

(ア) 財務諸表提出会社の親会社

重要な該当事項はありません。

(イ) 財務諸表提出会社の子会社

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金又は出資金	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(百万円)	科目	期末残高(百万円)
子会社	Nikko Asset Management International Limited	シンガポール国	342,369 (SGD千)	アセットマネジメント業	直接 100.00	資金の貸付	資金の貸付 (シンガポールドル 貸建) (注1)	159 (SGD 2,000千) (注2)	関係会社 短期 貸付金	550 (SGD 6,800千)
							貸付金利息 (シンガポールドル 貸建) (注1)	13 (SGD 162千)	未収収益	8 (SGD 110千)
							資金の貸付 (円貸建) (注3)	-	関係会社 短期 貸付金	577
							貸付金利息 (円貸建) (注3)	12	未収収益	3
							増資の引受 (注4)	2,466 (SGD 30,369千)	-	-
子会社	日本インステイテューショナル証券設立準備株式会社	日本	100 (百万円)	金融商品取引業者として登録を受けるための準備会社	直接 100.00	-	増資の引受 (注5)	100	-	-

(注) 取引条件及び取引条件の決定方針等

- 融資枠SGD11,000千、返済期間1年間のリボルビング・ローンで、金利は市場金利を勘案して決定しております。
- 資金の貸付に係る取引金額159百万円(SGD2,000千)の内訳は、貸付159百万円(SGD2,000千)であります。

- 3 融資枠5,000百万円、返済期間1年間のリボルビング・ローンで、金利は市場金利を勘案して決定しております。
- 4 Nikko Asset Management International Limitedの行った30,369,000株の新株発行増資を、1株につき1シンガポールドルで当社が引受けたものであります。
- 5 日本インスティテューショナル証券設立準備株式会社の行った2,000株の新株発行を、1株につき50千円で当社が引受けたものであります。

2 親会社又は重要な関連会社に関する注記

(1) 親会社情報

三井住友トラスト・ホールディングス株式会社(東京証券取引所等に上場)

三井住友信託銀行株式会社(非上場)

(2) 重要な関連会社の要約財務情報

当事業年度において、重要な関連会社は融通(ロントン)基金管理有限公司であり、その要約財務情報は以下のとおりであります。なお、下記数値は2017年12月31日に終了した年度の財務諸表を当日の直物為替相場で円貨に換算したものであります。

資産合計	27,012百万円
負債合計	5,141百万円
純資産合計	21,871百万円

営業収益	15,830百万円
税引前当期純利益	5,266百万円
当期純利益	3,594百万円

第60期(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1 関連当事者との取引

(1) 財務諸表提出会社と関連当事者の取引

(ア) 財務諸表提出会社の親会社

重要な該当事項はありません。

(イ) 財務諸表提出会社の子会社

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金又は出資金	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(百万円)	科目	期末残高(百万円)
子会社	Nikko Asset Management International Limited	シンガポール国	342,369 (SGD 千)	アセットマネジメント業	直接 100.00	資金の貸付	資金の貸付の返済 (シンガポールドル貨建) (注1)	554 (SGD 6,800 千) (注2)	-	-
							貸付金利息 (シンガポールドル貨建) (注1)	8 (SGD 104 千)	-	-
							資金の貸付 (米国ドル貨建) (注3)	1,807 (USD 16,500 千) (注4)	関係会社 短期貸付金	1,830 (USD 16,500 千)

							貸付金利息 (米国ドル 貨建) (注3)	17 (USD 209千)	未収収益	17 (USD 209千)
							資金の貸付 (円貨建) (注3)	-	関係会社 短期 貸付金	577
							貸付金利息 (円貨建) (注3)	12	未収収益	3
子会社	Nikko AM Americas Holding Co., Inc.	米国	131,079 (USD千) (注5)	アセット マネジメ ント業	直接 100.00	-	配当の受取	1,021 (USD 9,000千)	-	-
子会社	Nikko Asset Management Americas, Inc.	米国	181,542 (USD千) (注5)	アセット マネジメ ント業	間接 100.00	資金の 借入	資金の借入 (米国ドル 貨建) (注6)	5,364 (USD 50,000千) (注7)	-	-
							資金の借入 の返済 (米国ドル 貨建) (注6)	5,526 (USD 50,000千) (注7)	-	-
							借入金利息 (米国ドル 貨建) (注6)	65 (USD 593千)	-	-

(注) 取引条件及び取引条件の決定方針等

- 1 融資枠SGD11,000千、返済期間1年間のリボルビング・ローンで、金利は市場金利を勘案して決定しております。
- 2 取引金額554百万円 (SGD6,800千) の内訳は、貸付の返済554百万円 (SGD6,800千) であります。
- 3 融資枠5,000百万円 (若しくは5,000百万円相当額の外国通貨)、返済期間1年間のリボルビング・ローンで、金利は市場金利を勘案して決定しております。
- 4 取引金額1,807百万円 (USD16,500千) の内訳は、貸付1,807百万円 (USD16,500千) であります。
- 5 Nikko AM Americas Holding Co., Inc.及びNikko Asset Management Americas, Inc.の資本金は、資本金及び資本剰余金の合計額を記載しております。
- 6 借入枠USD50,000千、返済期間1年間のリボルビング・ローンで、金利は市場金利を勘案して決定しております。
- 7 取引金額5,364百万円 (USD50,000千) 及び5,526百万円 (USD50,000千) の内訳は、借入5,364百万円 (USD50,000千) 及び借入の返済5,526百万円 (USD50,000千) であります。

2 親会社又は重要な関連会社に関する注記

(1) 親会社情報

三井住友トラスト・ホールディングス株式会社 (東京証券取引所等に上場)
三井住友信託銀行株式会社 (非上場)

(2) 重要な関連会社の要約財務情報

当事業年度において、重要な関連会社は融通(ロントン)基金管理有限公司であり、その要約財務情報は以下のとおりであります。なお、下記数値は2018年12月31日に終了した年度の財務諸表を当日の直物為替相場場で円貨に換算したものであります。

資産合計 26,768百万円
負債合計 5,586百万円

純資産合計	21,181百万円
営業収益	14,075百万円
税引前当期純利益	3,894百万円
当期純利益	2,730百万円

（セグメント情報等）

セグメント情報

第59期(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

当社はアセットマネジメント業の単一セグメントであるため、記載しておりません。

第60期(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

当社はアセットマネジメント業の単一セグメントであるため、記載しておりません。

関連情報

第59期(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

当社の製品及びサービスはアセットマネジメント業として単一であるため、記載しておりません。

2 地域ごとの情報

（1）営業収益

国内の外部顧客への営業収益に分類した額が営業収益の90%超であるため、記載を省略しております。

（2）有形固定資産

国外に所在している有形固定資産が無いため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

営業収益の10%以上を占める単一の外部顧客が無いため、記載しておりません。

第60期(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

当社の製品及びサービスはアセットマネジメント業として単一であるため、記載しておりません。

2 地域ごとの情報

（1）営業収益

国内の外部顧客への営業収益に分類した額が営業収益の90%超であるため、記載を省略しております。

（2）有形固定資産

国外に所在している有形固定資産が無いため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

営業収益の10%以上を占める単一の外部顧客が無いため、記載しておりません。

報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

第59期(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

該当事項はありません。

第60期(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

該当事項はありません。

報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

第59期(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

該当事項はありません。

第60期(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

該当事項はありません。

報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

第59期(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

該当事項はありません。

第60期(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

項目	第59期 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	第60期 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額	319円40銭	355円59銭
1株当たり当期純利益金額	35円64銭	45円08銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、新株予約権の残高はありますが、当社株式が非上場であるため、期中平均株価が把握できませんので、希薄化効果を算定できないため記載していません。

2 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	第59期 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	第60期 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益(百万円)	6,979	8,823
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る当期純利益(百万円)	6,979	8,823
普通株式の期中平均株式数(千株)	195,794	195,677
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	2009年度ストックオプション(1) 1,494,900株、2009年度ストックオプション(2) 108,900株、2011年度ストックオプション(1) 2,686,200株、2016年度ストックオプション(1) 3,618,000株、2016年度ストックオプション(2) 3,877,000株	2009年度ストックオプション(1) 1,171,500株、2009年度ストックオプション(2) 75,900株、2011年度ストックオプション(1) 2,055,900株、2016年度ストックオプション(1) 3,618,000株、2016年度ストックオプション(2) 3,811,000株、2017年度ストックオプション(1) 4,356,000株

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	第59期 (2018年3月31日)	第60期 (2019年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	62,511	69,571

純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	-	-
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	62,511	69,571
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(千株)	195,711	195,647

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

中間財務諸表等

(1) 中間貸借対照表

(単位:百万円)

第61期中間会計期間
(2019年9月30日)

資産の部		
流動資産		
現金・預金		23,147
有価証券		10
未収委託者報酬		13,391
未収収益		845
関係会社短期貸付金		2,358
その他	2	2,563
流動資産合計		42,316
固定資産		
有形固定資産	1	268
無形固定資産		83
投資その他の資産		
投資有価証券		17,535
関係会社株式		25,769
長期差入保証金		498
繰延税金資産		1,879
投資その他の資産合計		45,684
固定資産合計		46,036
資産合計		88,353

(単位:百万円)

第61期中間会計期間
(2019年9月30日)

負債の部		
流動負債		
未払金		5,950
未払費用		3,948
未払法人税等		1,788
未払消費税等	3	415
賞与引当金		1,432
役員賞与引当金		27
その他		559
流動負債合計		14,122

固定負債		
退職給付引当金		1,433
その他		494
固定負債合計		1,927
負債合計		16,050
純資産の部		
株主資本		
資本金		17,363
資本剰余金		
資本準備金		5,220
資本剰余金合計		5,220
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金		49,870
利益剰余金合計		49,870
自己株式		905
株主資本合計		71,547
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		356
繰延ヘッジ損益		398
評価・換算差額等合計		755
純資産合計		72,302
負債純資産合計		88,353

(2) 中間損益計算書

(単位：百万円)

		第61期中間会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業収益		
委託者報酬		37,324
その他営業収益		1,394
営業収益合計		38,718
営業費用及び一般管理費	1	33,922
営業利益		4,796
営業外収益	2	2,859
営業外費用	3	124
経常利益		7,530
特別利益	4	126
特別損失	5	4
税引前中間純利益		7,651
法人税等	6	1,711
中間純利益		5,940

(3) 中間株主資本等変動計算書

第61期中間会計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	17,363	5,220	5,220	47,142	47,142	833	68,891
当中間期変動額							
剰余金の配当				3,212	3,212		3,212
中間純利益				5,940	5,940		5,940
自己株式の取得						71	71
株主資本以外の項目の 当中間期変動額（純額）							
当中間期変動額合計	-	-	-	2,727	2,727	71	2,655
当中間期末残高	17,363	5,220	5,220	49,870	49,870	905	71,547

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算差 額等合計	
当期首残高	493	185	679	69,571
当中間期変動額				
剰余金の配当				3,212
中間純利益				5,940
自己株式の取得				71
株主資本以外の項目の 当中間期変動額（純額）	136	212	75	75
当中間期変動額合計	136	212	75	2,731
当中間期末残高	356	398	755	72,302

注記事項

（重要な会計方針）

項目	第61期中間会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
1 資産の評価基準及び評価方法	<p>(1) 有価証券</p> <p>子会社株式及び関連会社株式 総平均法による原価法</p> <p>その他有価証券 時価のあるもの 中間決算末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は、総平均法により算定）</p> <p>時価のないもの 総平均法による原価法</p>

2 固定資産の減価償却の方法	<p>(2) デリバティブ 時価法</p> <p>(1) 有形固定資産 定率法により償却しております。ただし、2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。</p> <p>(2) 無形固定資産 定額法により償却しております。なお、ソフトウェア(自社利用分)については、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。</p>
3 引当金の計上基準	<p>(1) 賞与引当金 従業員に支給する賞与の支払に充てるため、支払見込額に基づき当中間会計期間負担額を計上しております。</p> <p>(2) 役員賞与引当金 役員に支給する賞与の支払に充てるため、支払見込額に基づき当中間会計期間負担額を計上しております。</p> <p>(3) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき当中間会計期間末において発生していると認められる額を計上しております。</p> <p>退職給付見込額の期間帰属方法 退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当中間会計期間末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。</p> <p>数理計算上の差異の費用処理方法 数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理しております。</p>
4 ヘッジ会計の方法	<p>(1) ヘッジ会計の方法 繰延ヘッジ処理によっております。</p> <p>(2) ヘッジ手段とヘッジ対象 ヘッジ手段は為替予約、ヘッジ対象は投資有価証券であります。</p> <p>(3) ヘッジ方針 ヘッジ取引規程等に基づき、ヘッジ対象に係る為替変動リスクをヘッジしております。</p> <p>(4) ヘッジ有効性評価の方法 ヘッジ開始時から有効性判定時点までの期間における相場変動によるヘッジ手段及びヘッジ対象資産に係る損益の累計を比較し有効性を評価しております。</p>
5 その他中間財務諸表作成のための基本となる重要な事項	<p>(1) 消費税等の会計処理 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっており、控除対象外消費税等は、当中間会計期間の費用として処理しております。</p> <p>(2) 税金費用の計算方法 税金費用については、当中間会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に、当該見積実効税率を乗じて計算しております。</p>

(中間貸借対照表関係)

第61期中間会計期間 (2019年9月30日)	
1 有形固定資産の減価償却累計額	1,977百万円
2 信託資産	流動資産のその他のうち2百万円は、「直販顧客分別金信託契約」により、野村信託銀行株式会社に信託しております。
3 消費税等の取扱い	仮払消費税等及び仮受消費税等は相殺のうえ、「未払消費税等」として表示しております。
4 保証債務	当社は、Nikko Asset Management Europe Ltd がロンドン ウォール リミテッド パートナーシップに支払うオフィス賃借料等の債務396百万円に対して保証を行っております。

(中間損益計算書関係)

第61期中間会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	
1 減価償却実施額	
有形固定資産	40百万円
無形固定資産	18百万円
2 営業外収益のうち主要なもの	
受取利息	51百万円
受取配当金	2,711百万円
3 営業外費用のうち主要なもの	
支払利息	91百万円
デリバティブ費用	2百万円
4 特別利益のうち主要なもの	
投資有価証券売却益	126百万円
5 特別損失のうち主要なもの	
投資有価証券売却損	4百万円
6 中間会計期間における税金費用につきましては、簡便法により計算しているため、法人税等調整額は「法人税等」に含めて表示しております。	

(中間株主資本等変動計算書関係)

第61期中間会計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	当中間会計期間増加	当中間会計期間減少	当中間会計期間末
普通株式(株)	197,012,500	-	-	197,012,500

2 自己株式の種類及び株式数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	当中間会計期間増加	当中間会計期間減少	当中間会計期間末
普通株式(株)	1,365,700	88,800	-	1,454,500

(注) 自己株式の増加は、自己株式の取得であります。

3 新株予約権等に関する事項

新株予約権の内訳	新株予約権の目的となる株式の種類	新株予約権の目的となる株式の数(株)				当中間会計期間末残高(百万円)
		当事業年度期首	当中間会計期間増加	当中間会計期間減少	当中間会計期間末	
2009年度 ストックオプション(1)	普通株式	1,171,500	-	1,171,500	-	-
2009年度 ストックオプション(2)	普通株式	75,900	-	75,900	-	-
2011年度 ストックオプション(1)	普通株式	2,055,900	-	442,200	1,613,700	-
2016年度 ストックオプション(1)	普通株式	3,618,000	-	1,533,000	2,085,000	-
2016年度 ストックオプション(2)	普通株式	3,811,000	-	1,018,000	2,793,000	-
2017年度 ストックオプション(1)	普通株式	4,356,000	-	1,018,000	3,338,000	-
合計		15,088,300	-	5,258,600	9,829,700	-

(注) 1 2009年度ストックオプション(1)、2009年度ストックオプション(2)、2011年度ストックオプション(1)、2016年度ストックオプション(1)、2016年度ストックオプション(2)及び2017年度ストックオプション(1)の減少は、新株予約権の失効によるものであります。

2 2011年度ストックオプション(1)1,613,700株、2016年度ストックオプション(1)1,251,000株及び2016年度ストックオプション(2)937,000株は、当中間会計期間末現在、権利行使期間の初日が到来しておりますが、他の条件が満たされていないため新株予約権を行使することができません。また、2016年度ストックオプション(1)834,000株、2016年度ストックオプション(2)1,856,000株及び2017年度ストックオプション(1)3,338,000株は権利行使期間の初日が到来しておりません。

4 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額(百万円)	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日
2019年5月28日 取締役会	普通株式	3,212	16.42	2019年3月31日	2019年6月24日

(2) 基準日が当中間会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

(リース取引関係)

第61期中間会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	
オペレーティング・リース取引 解約不能のものに係る未経過リース料	
1年内	898百万円
1年超	6,604百万円
合計	7,503百万円

(金融商品関係)

第61期中間会計期間(2019年9月30日)

金融商品の時価等に関する事項

2019年9月30日(当中間決算日)における中間貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません。

(単位：百万円)

	中間貸借対照表 計上額(1)	時価(1)	差額
(1) 現金・預金	23,147	23,147	-
(2) 未収委託者報酬	13,391	13,391	-
(3) 未収収益	845	845	-
(4) 関係会社短期貸付金	2,358	2,358	-
(5) 有価証券及び投資有価証券 その他有価証券	17,529	17,529	-
(6) 未払金	(5,950)	(5,950)	-
(7) 未払費用	(3,948)	(3,948)	-
(8) デリバティブ取引(2) ヘッジ会計が適用されていないもの	(64)	(64)	-
ヘッジ会計が適用されているもの	75	75	-
デリバティブ取引計	11	11	-

(1)負債に計上されているものについては、()で示しております。

(2)デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しております。

(注) 1 金融商品の時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項

(1) 現金・預金、(2) 未収委託者報酬、(3) 未収収益並びに(4) 関係会社短期貸付金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(5) 有価証券及び投資有価証券

投資信託は基準価額によっております。

(6) 未払金及び(7) 未払費用

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(8) デリバティブ取引

(デリバティブ取引関係)注記を参照ください。なお、ヘッジ会計が適用されていないものは、貸借対照表上流動負債のその他に含まれております。またヘッジ会計が適用されているもののうち86百万円は、貸借対照表上流動資産のその他に含まれ、10百万円は、流動負債のその他に含まれております。

2 非上場株式等(中間貸借対照表計上額16百万円)は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ること等ができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(5)有価証券及び投資有価証券 その他有価証券」には含めておりません。

3 子会社株式(中間貸借対照表計上額22,876百万円)及び関連会社株式(中間貸借対照表計上額2,892百万円)は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ること等ができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、上記の表には含めておりません。

(有価証券関係)

第61期中間会計期間(2019年9月30日)

1 子会社株式及び関連会社株式

(単位:百万円)

	中間貸借対照表計上額
子会社株式	22,876
関連会社株式	2,892

(注) 子会社株式及び関連会社株式は市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ること等ができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、時価を記載しておりません。

2 その他有価証券

(単位:百万円)

	種類	中間貸借対照表計上額	取得原価	差額

中間貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの	投資信託	12,130	11,325	805
	小計	12,130	11,325	805
中間貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの	投資信託	5,399	5,690	291
	小計	5,399	5,690	291
合計		17,529	17,015	513

- (注) 1 減損処理にあたっては、中間期末における時価が取得原価に比べ50%以上下落した場合にはすべて減損処理を行い、30%～50%程度下落した場合には、当該金額の重要性、回復可能性等を考慮して必要と認められた額について減損処理を行っております。当中間会計期間については、該当ございません。
- 2 非上場株式等(中間貸借対照表計上額16百万円)については、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ること等ができず、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「其他有価証券」には含めておりません。

(デリバティブ取引関係)

第61期中間会計期間(2019年9月30日)

1 ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

(1) 株式関連

種類		契約額等 (百万円)	契約額等の うち1年超 (百万円)	時価 (百万円)	評価損益 (百万円)
市場取引	株価指数先物取引 売建	2,129	-	47	47
合計		2,129	-	47	47

(注) 1 上記取引については時価評価を行い、評価損益は損益計算書に計上しております。

2 時価の算定方法

金融商品取引所が定める清算指数によっております。

(2) 通貨関連

種類		契約額等 (百万円)	契約額等の うち1年超 (百万円)	時価 (百万円)	評価損益 (百万円)
市場取引 以外の取引	為替予約取引 売建 米ドル	1,760	-	17	17
合計		1,760	-	17	17

(注) 1 上記取引については時価評価を行い、評価損益は損益計算書に計上しております。

2 時価の算定方法

取引先金融機関から提示された価格等に基づき算定しております。

2 ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引

通貨関連

ヘッジ 会計の 方法	デリバティブ取引の 種類等	主なヘッジ 対象	契約額等 (百万円)	契約額等の うち1年超 (百万円)	時価 (百万円)
原則的 処理方法	為替予約取引 売建	投資有価証券			
	米ドル		2,261	-	10
	豪ドル		71	-	2
	シンガポールドル		913	-	11

	ユーロ		72	-	2
	香港ドル		425	-	1
	人民元		2,091	-	68
	合計		5,834	-	75

(注) 1 時価の算定方法

取引先金融機関から提示された価格等に基づき算定しております。

(持分法損益等)

第61期中間会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	
関連会社に持分法を適用した場合の投資損益等	
(1) 関連会社に対する投資の金額	3,004百万円
(2) 持分法を適用した場合の投資の金額	10,509百万円
(3) 持分法を適用した場合の投資利益の金額	1,047百万円

(ストックオプション等関係)

第61期中間会計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

[セグメント情報]

第61期中間会計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

当社はアセットマネジメント業の単一セグメントであるため、記載しておりません。

[関連情報]

第61期中間会計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1 製品及びサービスごとの情報

当社の製品及びサービスはアセットマネジメント業として単一であるため、記載しておりません。

2 地域ごとの情報

(1) 営業収益

国内の外部顧客への営業収益に分類した額が営業収益の90%超であるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

国外に所在している有形固定資産が無いため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

営業収益の10%以上を占める単一の外部顧客が無いため、記載しておりません。

報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

第61期中間会計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

該当事項はありません。

報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

第61期中間会計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

該当事項はありません。

報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

第61期中間会計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

項目	第61期中間会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
1株当たり純資産額	369円72銭
1株当たり中間純利益金額	30円36銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額については、新株予約権等の残高はありますが、当社株式が非上場であるため、期中平均株価が把握できませんので、希薄化効果を算定できないため記載しておりません。

2 1株当たり中間純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	第61期中間会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
中間純利益(百万円)	5,940
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-
普通株式に係る中間純利益(百万円)	5,940
普通株式の期中平均株式数(千株)	195,640
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	2011年度ストックオプション(1)1,613,700株、 2016年度ストックオプション(1)2,085,000株、 2016年度ストックオプション(2)2,793,000株、 2017年度ストックオプション(1)3,338,000株

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	第61期中間会計期間 (2019年9月30日)
中間貸借対照表の純資産の部の合計額(百万円)	72,302
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	-
普通株式に係る中間会計期間末の純資産額(百万円)	72,302
1株当たり純資産額の算定に用いられた中間会計期間末の普通株式の数(千株)	195,558

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

第2【その他の関係法人の概況】

1【名称、資本金の額及び事業の内容】

< 更新後 >

(1) 受託会社

名 称	資本金の額 (2019年9月末現在)	事業の内容
野村信託銀行株式会社	35,000百万円	銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律に基づき信託業務を営んでいます。

< 更新後 >

(2) 販売会社

名 称	資本金の額 (2019年9月末現在)	事業の内容
岩井コスモ証券株式会社	13,500百万円	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
エース証券株式会社	8,831百万円	
auカブコム証券株式会社	7,196百万円	
S M B C 日興証券株式会社	10,000百万円	
株式会社 S B I 証券	48,323百万円	
F F G 証券株式会社	3,000百万円	
O K B 証券株式会社	15億円 (2019年10月7日現在)	
岡三オンライン証券株式会社	2,500百万円	
四国アライアンス証券株式会社	3,000百万円	
静銀ティーエム証券株式会社	3,000百万円	
七十七証券株式会社	3,000百万円	
株式会社証券ジャパン	30億円 (2019年12月25日現在)	
第四北越証券株式会社	600百万円	
ちばぎん証券株式会社	4,374百万円	
中銀証券株式会社	20億円 (2019年6月27日現在)	
とうほう証券株式会社	3,000百万円	
八十二証券株式会社	3,000百万円	
浜銀 T T 証券株式会社	3,307百万円 (2019年6月25日現在)	
P W M 日本証券株式会社	3,000百万円	
百五証券株式会社	30億円 (2019年6月21日現在)	
ひろぎん証券株式会社	5,000百万円 (2019年3月末現在)	
フィデリティ証券株式会社	9,257百万円 (2019年3月末現在)	
ほくほく T T 証券株式会社	1,250百万円	
北洋証券株式会社	3,000百万円	
松井証券株式会社	11,945百万円	

マネックス証券株式会社	12,200百万円
丸八証券株式会社	3,751百万円
水戸証券株式会社	12,272百万円
楽天証券株式会社	7,495百万円
ワイエム証券株式会社	1,270百万円 (2019年6月28日現在)
株式会社愛知銀行 1	18,000百万円
株式会社秋田銀行	14,100百万円
株式会社足利銀行	135,000百万円
株式会社イオン銀行	51,250百万円
株式会社伊予銀行	20,948百万円
株式会社岩手銀行	12,089百万円
株式会社愛媛銀行	21,363百万円
株式会社大分銀行	19,598百万円
株式会社大垣共立銀行	46,773百万円
株式会社沖縄銀行	22,725百万円
株式会社香川銀行	12,014百万円
株式会社北九州銀行	10,000百万円
株式会社紀陽銀行	80,096百万円
株式会社佐賀銀行	16,062百万円
株式会社佐賀共栄銀行	2,679百万円
株式会社滋賀銀行	33,076百万円
株式会社七十七銀行	24,658百万円
株式会社清水銀行	10,816百万円
株式会社ジャパンネット銀行	37,250百万円
株式会社十六銀行	36,839百万円
株式会社荘内銀行	8,500百万円
株式会社常陽銀行	85,113百万円
ソニー銀行株式会社	31,000百万円
株式会社第三銀行	37,461百万円
株式会社但馬銀行	5,481百万円
株式会社筑邦銀行	8,000百万円
株式会社千葉銀行	145,069百万円
株式会社千葉興業銀行	62,120百万円
株式会社中京銀行	31,844百万円
株式会社中国銀行	15,149百万円
株式会社東京スター銀行	26,000百万円
株式会社東邦銀行	23,519百万円
株式会社栃木銀行	27,408百万円
株式会社トマト銀行	17,810百万円
株式会社富山銀行	6,730百万円
株式会社長崎銀行	6,121百万円
株式会社長野銀行	13,017百万円

銀行法に基づき銀行業を営んでいます。

株式会社名古屋銀行	25,090百万円	
株式会社南都銀行	37,924百万円	
株式会社西日本シティ銀行	85,745百万円	
株式会社百五銀行	20,000百万円	
株式会社広島銀行	54,573百万円	
株式会社福井銀行	17,965百万円	
株式会社北都銀行	12,500百万円	
株式会社北洋銀行	121,101百万円	
株式会社北陸銀行	140,409百万円	
株式会社三重銀行	15,295百万円	
株式会社宮崎銀行	14,697百万円	
株式会社宮崎太陽銀行	12,252百万円	
株式会社武蔵野銀行	45,743百万円	
株式会社もみじ銀行	10,000百万円	
株式会社山形銀行 2	12,008百万円	
株式会社山口銀行	10,005百万円	
三井住友信託銀行株式会社	342,037百万円	銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律に基づき信託業務を営んでいます。
おかやま信用金庫	1,841百万円 (出資の総額) (2019年3月末現在)	信用金庫法に基づき信用金庫の事業を営んでいます。
全国信用協同組合連合会	107,275百万円 (出資の総額)	協同組合による金融事業に関する法律に基づき金融事業を営んでいます。
日興アセットマネジメント株式会社	17,363百万円	証券投資信託の設定を行なうとともに金融商品取引法に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）を行なっています。また金融商品取引法に定める投資助言業務を行なっています。

1 2020年7月6日より取扱開始予定です。

2 2020年7月1日より取扱開始予定です。

3【資本関係】

< 更新後 >

(2) 販売会社

該当事項はありません。

独立監査人の中間監査報告書

2020年4月30日

日興アセットマネジメント株式会社

取締役会御中

PwCあらた有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 佐々木 貴司
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 辻村 和之
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているグローバル3倍3分法ファンド（1年決算型）の2019年9月25日から2020年3月24日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間監査意見

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、グローバル3倍3分法ファンド（1年決算型）の2020年3月24日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（2019年9月25日から2020年3月24日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

利害関係

日興アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注)1. 上記は、当社が、中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. X B R L データは中間監査の対象には含まれていません。

独立監査人の監査報告書

2019年6月13日

日興アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 羽 太 典 明
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 竹 内 知 明
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている日興アセットマネジメント株式会社の2018年4月1日から2019年3月31日までの第60期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、日興アセットマネジメント株式会社の2019年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注)1.上記は、当社が、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. X B R L データは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の中間監査報告書

2019年12月5日

日興アセットマネジメント株式会社
取締役会御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 貞 廣 篤 典
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 竹 内 知 明
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている日興アセットマネジメント株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの第61期事業年度の中間会計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益計算書、中間株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について中間監査を行った。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間監査意見

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、日興アセットマネジメント株式会社の2019年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する中間会計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）の経営成績に関する有用な情報を表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注)1. 上記は、当社が、中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. X B R L データは中間監査の対象には含まれていません。